

## 会議録

会議名 (審議会等名)	第4期第10回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	平成30年4月16日(月) 13時31分~15時17分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	21人(別紙のとおり)	
	その他	5人(相模女子大学)	
	事務局	17人(南区長、副区長、他15人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1)「第4回More輝区~南区アイディアコンペ~」の結果について</p> <p>4 議題 (1)第4期南区区民会議活動報告(案)について (2)平成30年度区ビジョン推進事業(案)について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		

## 審議経過

主な内容は、次のとおり。

( 〇〇は会長、 〇〇は委員、 〇〇は事務局の発言 )

### 1 開会

### 2 会議の公開について

( 1 ) 傍聴の許可について

傍聴希望者 なし

佐藤区長、松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

### 3 報告

( 1 ) 「第4回More輝区～南区アイデアコンペ～」の結果について

資料に基づき、事務局から説明。

4回目なので、若プロのメンバーの手際が非常に良くなっていた。終始、楽しい雰囲気で開催されており、そのような雰囲気の中でプレゼンテーションされていく過程が良かった。

今回は「家族のための南区」という、すごく難しいテーマであったが、7団体ともそれぞれの視点からアイデアを出し、良い雰囲気のアイデアコンペになっていた。若プロも新しいことに挑戦していたように見えたので、来年の5回目では、今回の反省点を踏まえて、また素晴らしいアイデアコンペにしてくれると思っている。

大人がきちんと運営するよりも、若者が個性を出しながらやっているということが、まさにまちづくりである。

事業終了後の南区合同庁舎での当日の開催内容についての展示も非常に良かった。

### 4 議題

( 1 ) 第4期南区区民会議活動報告(案)について

資料に基づき、事務局から説明。

議論する点は、報告書としての形式及び内容の確認が一つ、また、この取組事例を踏まえて、第5期に期待する討議内容の検討である。

ファシリテーターの研修を受けて、大野南地区の自治会長会議でグループワークを実践してみたところ、いつもより意見が出た。やはり、グループをつくと、話が和やかに進むようである。そこで出た意見としては、任期の途中ではなくスタートで実施して欲しかったとのことで、今後も試していきたい。

自治会長会議では言いたいことを言えない方もいるので、ファシリテートやグループワークを取り入れていくと地域としての意見がまとまっていくと思う。

インタビュー事業のアンケートについて、光明学園相模原高等学校附属幼稚園に快く協力して頂いた。まちづくりの委員の方は普段から地域の人たちと、接点をもって活動していかないといけないと感じた。

アンケートなどに協力いただいた人には結果を報告する必要がある。

東林地区の自治会長会議では必ず指名をして、全員にお話をいただくという形をとっている。これは、区民会議を参考にしている。

ワークショップのようにみんなが色々話す会議も良いが、会議によっては乱雑に話をするだけになってしまうことがある。

地域によって特性があるので、それに併せて行っていけば良い。

ファシリテーターの研修を受けて、新磯地区のまちづくり会議でもグループワークを実施してみた。まちづくり会議には若い公募委員もあり、色々な意見が出て良かったと思う。その結果を踏まえて、今年の自治会長研修会で少し取り入れてみようと思っている。

ファシリテーターの研修ではアイスブレイクとしてゲームをしたが自治会長会議の場合だと、ゲームの時間まではとれないので、少し工夫をした。受付でくじを引いてもらって、グループワークの班を決めるというものであるが、参加者は少しリラックスしたように思えた。

相武台地区では紙を渡して、好きなことを書いてくださいというやり方を試したが、全然出てこなかった。ワークショップなどは引き続き取り組んでいく必要があると感じている。

無作為抽出型区民討議会の参加者で若プロに参加した人はいるのか。

今回の無作為抽出討議会では、加入はなかった。

参加者を増やすには後押しが必要である。

インタビュー事業の自由記述欄の回答についてだが、カテゴリーで分けるなど見やすくまとめたほうが良い。

ファシリテーターのスキルをまとめてあるページに、「ファシリテーターとは何か」や役割などを載せても良いのでは。

報告書なのでここでのまとめ方は良いが、今後については、各委員の団体などで実際に試し

てみて、良い部分を加えながら、南区流のファシリテートスキルというものをまとめていけると良い。

賛成である。第5期では世代間交流促進のために、自分達で使えるようなファシリテートのスキルを作っていきたい。

この活動報告は、活動をやったことの報告なので、この中から浮かび上がってきたことのまとめみたいなものは特につけなくてもよいのではないかと。

第4期の活動の中で、出会いや自分が安らげる場所を求めている人が少なからずいるという風を感じた。アンケートの結果や、無作為抽出型区民討議会に参加してくれた人を見ると出会いを求めていたと思う。そういう出会いを求めている人たちは、何か参加したいと思っているが、それをうまく生かせないし、堅苦しい場かなと思って参加できないということもあるので、参加しやすい手法が見つけられれば良い方向に繋がっていくと思った。

南区アイデアコンペに参加してくれた「子育てサロンぽっかぽか」についてだが、子育て中のお母さん方は忙しく、まちづくりに参加することが難しいと思っていたが、アイデアコンペに参加してはどうかと声をかけたところ、参加をしてくれて、また、入賞もした。自身が反省をしたのだが、この人たちは忙しいからダメだとかの決めつけはせずに、もっと幅広く目を向けると、もっと多様な意見が入ってくると感じた。

誘う側が無理と思っていると先に進まないのだから、相手の様子を見ながら、無理強いをしてはいけませんが、一つの機会を作っていくのは大事なことです。

今回作成する報告書を1枚程度にまとめたものをアンケートに参加した人などにフィードバックできると良い。また、まちづくり会議にもフィードバックし問題点などを共有する必要があります。そうすると新たなアイデアが色々なところから出てくるのではないかと。

まちづくり会議ごとに何人かのファシリテーターを決めて実践してもらい、その結果を区民会議にあげてもらうことができると良い。

子育てをしている人がまちづくりになかなか参加できないことについては、子連れや夫婦と一緒に参加しても良いという雰囲気作りや子どもがちょっと遊べる場所を用意していかないと難しい。例えばまちづくり会議にも常にそういう場所があったりすると、もっともっと世代間の交流が進むのではないかと。

フィードバックは当然していかなくてはならない。難しい資料では見てもらえないので、簡単に1枚程度でまとめられると良い。

ファシリテーターについては、牧之原市では学生や商売をしている人等、様々な人が行っていた。手法はこれから考えていきたいが、南区にも色々な人がいるので、そういう人たちの出番を作ること一つの方法と思っている。区民会議委員が担うことも一つではあるが、新

たに人を育てていくことも大事である。

まちづくり会議との連携についてだが、活動報告書のダイジェスト版があると報告しやすい。ダイジェスト版には、中身がわかるようなサブタイトルをつけるとわかりやすいと思う。

区民会議の活動報告書について、ダイジェスト版の作成や自由意見のカテゴリーなど、御意見を踏まえて検討していく。

区民会議には各組織の長が多く参加されているが、まちづくり会議や自治会単位から働く世代の人に出てきてもらって、ファシリテートの手法を学ぶことや今後の取組等について意見をもらうことも良いのでは。最終的には世代間交流をして、まちづくり会議とか自治会にフィードバックしないと意味がない。

第5期のときに考えていくテーマではあるが、まちづくりにおける働く世代などの受け皿、出番を作っていくと良い。例えば、ファシリテートをする人を7地区から出してもらったりグラフィックをする人を女子美術大学で探してみるなど、多くの人材がいると思うので、機会を創っていく必要がある。これについては第5期でさらに詰めて検討したい。

## (2) 平成30年度区ビジョン推進事業(案)について

資料に基づき、事務局から説明。

第5期区民会議に期待する討議内容についてはどのように検討していくのか。

第5期に期待する討議内容については、本日議論した意見を活動報告書に反映させ、その結果を委員に送付する。そこで頂いた意見を第11回区民会議で再度提示させていただき議論していただく。

第5期で具体的にどのような事業を行うかについては、第5期区民会議が正式に立ち上がった後で検討していきたい。

## 5 その他

### ・相模女子大学マッチングプロジェクト及び夢をかなえるセンターについて

相模女子大学から説明。

相模女子大学で地域と学生をつなぐためのプロジェクトを立ち上げた。初めての取組として、5月7日・8日に相模女子大学内で、学生に地域イベントをPRする場を設ける。

夢をかなえるセンターは大学だけが対象ではなく、地域の人と連携をしながら利用してもらいたい施設である。

- ・ アイデアコンペでの提案の実現化について  
アイデアコンペで提案された「子育てサロンぼっかぼか」のアイデアが、ユニコムプラザで実現化される旨、委員から情報提供された。
- ・ 事務局から区民会議及びまちづくり会議の認知度向上のために作成した、クリアファイルとポケットティッシュのPRグッズについて説明。
- ・ 事務局から次回の日程については、6月頃に開催する旨報告。

## 6 閉会

松下会長のあいさつの後、閉会。

## 相模原市南区区民会議委員名簿

（順不同・敬称略）

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	森 逸雄	大野中地区まちづくり会議会長		出席
2	大木 恵	大野南地区まちづくり会議会長		出席
3	石井 正彦	麻溝地区まちづくり会議会長		出席
4	穂苅 健二	新磯地区まちづくり会議会長		出席
5	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議副会長		出席
6	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議会長		出席
7	嘉松 皓	東林地区まちづくり会議会長		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会会長		欠席
9	中村 方子	相模原市民生委員児童委員協議会会計		出席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会監事		出席
11	伊藤 重俊	相模原市地区社会福祉協議会連絡協議会 南区連絡会（市地区社会福祉協議会監事）		出席
12	古田 政子	子育て親育ち応援団 With.cfc 副代表		欠席
13	白井 憲二	相模原商工会議所 2号議員		出席
14	義見 亮太	相模原青年会議所前理事長		欠席
15	井部 弥生	相模原市民文化財団総務課長		出席
16	坂本 堯則	相模原市自治会連合会会長	副会長	欠席
17	松下 啓一	相模女子大学人間社会学部教授	会長	出席
18	飯村 和道	女子美術大学芸術学部教授		出席
19	田中 美加	北里大学看護学部教授		出席
20	荒俣 大	公募委員		出席
21	若林 美佳	公募委員		出席
22	井上 信	公募委員		出席
23	草津 成	伊勢丹相模原店総務部マネージャー		出席
24	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム業務部部長補佐 （市立市民・大学交流センター所長）		出席
25	鎌田 成美	区内大学生（女子美術大学）		出席



第 4 期

第 10 回相模原市南区区民会議 次第

日時 平成 30 年 4 月 16 日 ( 月 )  
午後 1 時 30 分から  
会場 南区合同庁舎 3 階 講堂

1 開 会

2 会議の公開について

3 報 告

( 1 ) 「第 4 回 M o r e 輝区 ~ 南区アイデアコンペ ~ 」の結果について

4 議 題

( 1 ) 第 4 期南区区民会議活動報告 ( 案 ) について

( 2 ) 平成 30 年度区ビジョン推進事業 ( 案 ) について

5 その他

6 閉 会

### 南区区民会議 F a c e b o o k

( 平成 29 年 12 月 21 日 ~ 平成 30 年 4 月 10 日 )

掲載件数 : 16 件

閲覧者数 : 3 , 287 人

いいね数 : 172 件



URL:<https://www.facebook.com/sagamiharasi.minamiku.kuminkaigi/>





モ ア かがやく

## 「第4回More輝区～南区アイデアコンペ～」開催結果

若い世代が区のまちづくりについて考える機会の創出や、区内の若者と地域団体との交流を目的に開催した「第4回 More 輝区～南区アイデアコンペ～」の結果について、次のとおりお知らせします。

### 1 日程

- (1) 開催日 平成30年2月17日(土)
- (2) 時間 13:00から16:30まで
- (3) 会場 相模女子大学マーガレットホール  
4階ガーデンホール(南区文京 2-1-1)



### 2 来場者数

約90名

### 3 コンペの概要

- (1) テーマ 「 家族のための南区 」  
普段は忙しい働く世代・子育て世代が、家族と一緒に地域活動等に参加(参画)するためのアイデアや仕組みの提案をしていただきました。
- (2) 発表時間  
約15分(プレゼン、質疑応答、入替時間含む)
- (3) 発表内容の展示  
会場後方に掲示板を設置し、各出場者の発表内容をパネルなどで展示しました。

### 4 出場者及び発表内容一覧

発表順	チーム名	発表内容
1	公益社団法人相模原青年会議所	家族のための南区
2	SFF(女子美術大学)	相南フードフェスティバルの開催
3	子育てサロン「ぼっかぼか」有志	親子が集える「屋根のある公園」の開催
4	相陽中学校 3年4組	働き方の改善と、保育士の負担軽減
5	小此木チーム(相模女子大学)	南区を知るための逃走ゲームの開催
6	子育て親育ち応援団with.cfc	子どもの生活の中心である「食う・寝る・遊ぶ」をテーマにしたイベントの開催
7	鶴の台小学校 PTA	ベルマーク、校外だよりを使った地域活動支援

## 5 実施結果（表彰）

### 南区アイデア賞

小此木チーム（相模女子大学）／南区を知るための逃走ゲームの開催

### オーディエンス賞

子育てサロン「ぽっかぽか」有志／親子が集える「屋根のある公園」の開催

### 審査員特別賞

S F F（女子美術大学）／相南フードフェスティバルの開催

各賞の詳細は次のとおりです。

#### 南区アイデア賞

南区若者参加プロジェクト実行委員が各プレゼンテーションを“交流”“共感”“オリジナリティ”の視点で審査し、決定しました。

#### オーディエンス賞

来場者に投票用紙を配布、最も印象に残ったプレゼンターを記入いただき、その得票数が最も多いチームに授与しました。

#### 審査員特別賞

各プレゼンテーションを「発表資料や展示の完成度」や「論理構成」、「実現性」など、幾つかの項目に基づき審査し、決定しました。審査員は、南区区民会議委員です。



第 4 期  
相模原市南区区民会議  
活動報告書（案）

平成 3 0 年 7 月

相模原市南区区民会議

# ごあいさつ

第4期相模原市南区区民会議では、平成28年7月から2年間にわたり、南区区ビジョンの実現に向けて、「世代間交流促進のための仕組みづくり」について審議を行ってまいりました。

南区区民会議は、自ら実践し、検証・提案を行う機関として、これまでに引き続き、“南区版プランクスツェレ”である「わいわいみんなで語ろう Part4 ～一語りいこうぜ！～」の開催や、市民がファシリテーターになることで地域活動などで様々な世代が活発に意見交換が図られる手法として、「世代間交流を促進するためのリーダーの育成事業」など、様々な取り組みを実施いたしました。

南区だけでなく、全国各地で課題となっている「世代間交流促進のための仕組みづくり」について、協働の視点から、解決に向けた取り組みを行ったことで、世代を問わず区民の皆様が、まちづくりについて考えるきっかけとなれば幸いです。

第5期におかれましても、南区の将来像である「湧きおこる7つの風 響きあう南区」を目指し、誰もが住み続けたい、活動し続けたいと思えるような魅力あふれるまちづくりに向けて、積極的な議論や活動を続けてもらえることを期待しております。

最後になりましたが、この2年間、区民会議の運営に多大なご協力をいただいた委員の皆様や地域の皆様に感謝申し上げます。

第4期相模原市南区区民会議

会 長 松下 啓一

—目次—

1 区民会議について	・・・・・・・・・・	1 P
2 テーマ選定の経緯	・・・・・・・・・・	4 P
3 課題解決に向けた取り組み	・・・・・・・・・・	11 P
4 第5期南区区民会議に期待する討議内容	・・・・・・・・・・	61 P

(参考資料)

資料1 相模原市南区区民会議規則	・・・・・・・・・・	63 P
資料2 相模原市南区区民会議委員名簿	・・・・・・・・・・	65 P
資料3 相模原市南区区民会議開催状況	・・・・・・・・・・	66 P

# 1 区民会議について

## 1 - 1 区民会議とは

市民協働のまちづくりを進めるため、平成 22 年 4 月の区制施行に伴い、区民会議とまちづくり会議が設置されました。

区民会議は、区の課題やまちづくりの方向性について協議を行う場として各区に設置された市の附属機関です。

### 区民会議の構成員

委員数は 25 人以内とし、区内のまちづくり会議から推薦された方、区内の公益的活動を行う団体から推薦された方、学識経験のある方、区内在住の方（公募により選任）などにより構成されています。

第 4 期南区区民会議の公募委員は、8 名の応募者の中から学識経験者 2 名を含む選考委員会で 3 名の方を選任しました。公募委員の人数及び選考方法については「相模原市審議会等の委員公募要綱」に基づいています。

### まちづくり会議とは・・・

まちづくり会議は、地域のまちづくりの課題を自主的に話し合い、課題解決に向けた活動に構成団体などが協働して取り組むために、本市のまちづくりを進めてきた 22 の地域（南区については 7 つの地域）にそれぞれ一つずつ設置されています。

まちづくり会議は、自治会や地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、公民館など、各地域で活動している団体等の皆さんを中心に構成されています。

### まちづくり会議との関連

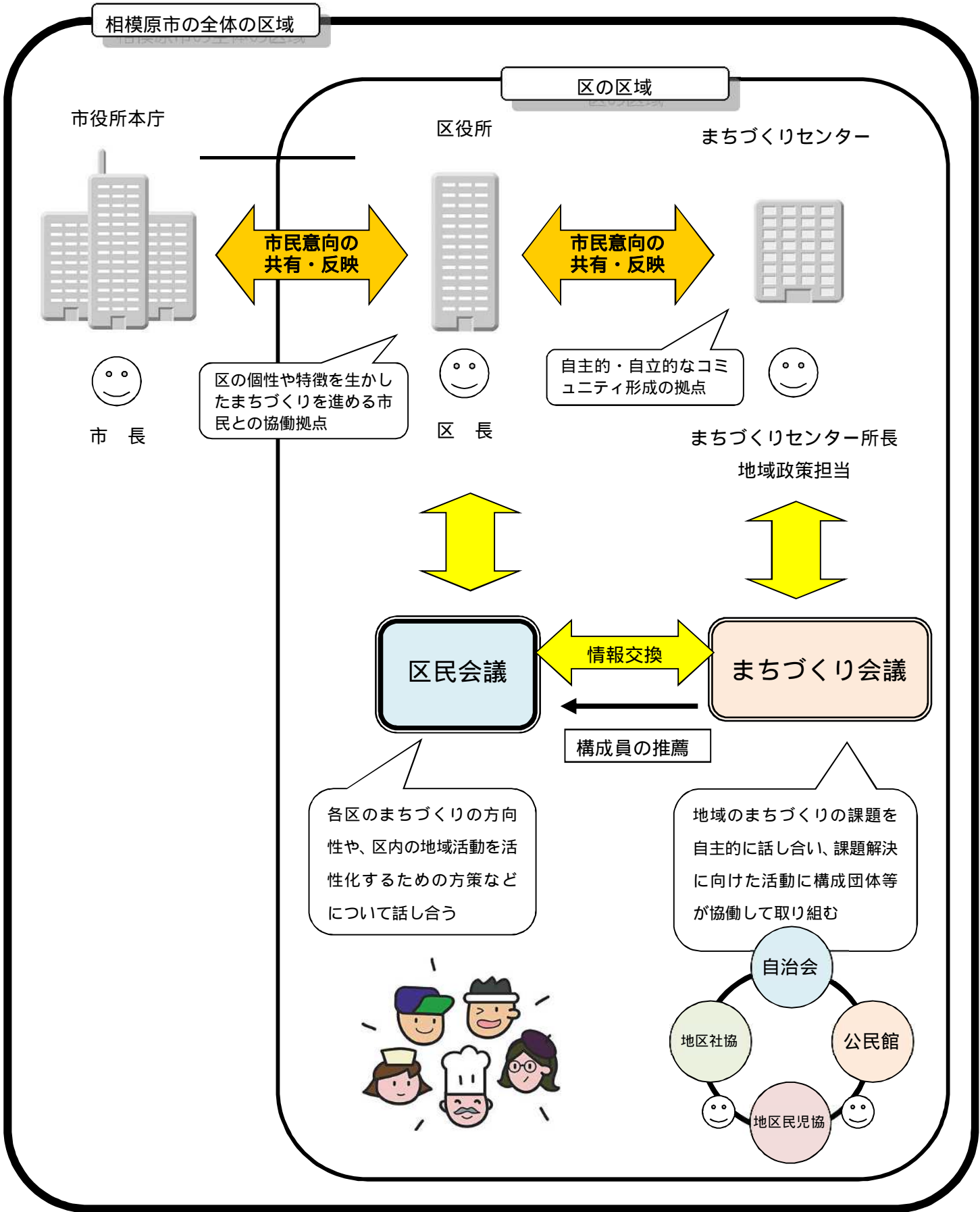
「区民会議」と「まちづくり会議」は、その位置付けや役割が異なるため両会議の間に上下関係はありません。

しかしながら、区民会議で区全体のまちづくりについて検討を進めるにあたっては、各地区で取り組むまちづくりの方向性が非常に重要となります。このため、各まちづくり会議から代表の方 1 名を区民会議の委員としてご推薦いただき、区民会議に参画していただいております。

また、区民会議における検討内容は、ご推薦をいただいた委員の方を通じてまちづくり会議へ報告していただき、まちづくり会議の活動内容は区民会議に報告していただくなど、両会議での情報の共有化を図っています。

「区民会議」と「まちづくり会議」の連携による市民協働のまちづくりの推進イメージは次ページのとおりです。

# 市民協働のまちづくりイメージ図



## 1 - 2 南区区民会議での検討経過

### 第1期南区区民会議

(平成22年7月30日～平成24年7月29日)

区の将来像を示す「区ビジョン」の策定が主たるテーマでした。区のまちづくりの方向性を示す「区ビジョン」については、第1回区民会議(平成22年7月30日開催)において市長から諮問を受け、平成24年3月28日に市長に答申しました。

区ビジョンの策定にあたっては、「～わいわいみんなで語ろう～南区区民ミーティング」、「南区区ビジョンミーティング」などを開催し、広く区民の皆様の意見を取り入れながら検討を行いました。



### 第2期南区区民会議

(平成24年7月30日～平成26年7月29日)

### 第3期南区区民会議

(平成26年7月30日～平成28年7月29日)

第1期区民会議で答申した「南区区ビジョン」を推進するため、南区の現状や課題を踏まえ、若い世代のまちづくりへの参画促進をテーマに、区民の皆様とグループワークなどの意見交換を実施し、検討結果を提言書にまとめ、平成28年7月に市長へ提言しました。

その提言を受けて、若者と地域、学校や行政のそれぞれが必要とする心得やマナーをまとめた「まちづくりのトリセツ」が発行されました。





## 2 テーマ選定の経緯

### 2 - 1 課題の抽出

第4期区民会議が取り組むテーマを選定するため、第3期区民会議で抽出した課題（P6-7「第4期南区区民会議に期待する討議内容」を参照）を参考に、第4期区民会議でグループワークを行い、取り組むべき課題を抽出した。

#### 【A班】 取り組むべき課題：安心して楽しく暮せる南区を創ろう（子どもから高齢者まで）

（主な意見）

- ・第3期南区区民会議までの理念的な内容から実践的な取組へ変えていく。
- ・世代間の連携が必要である。
- ・コミュニティサロンの設置なども必要ではないか。  
また、その運営の財源確保なども検討してはみてはどうか。

（暮らし潤いさがみはら寄付金の活用など）

- ・空き家の活用の検討。（地域への開放など）
- ・子育て世代などに、まちづくりに参加してもらうための方策の検討。  
（自転車事故に対する安全教室などの取組をし、子育て世代などを取り込んでいくことなど。）

#### 【B班】 取り組むべき課題：世代間の交流

（主な意見）

- ・南区区ビジョンに掲げられたまちづくりの目標Ⅱ～Ⅳ、「都市と自然が調和するまち」「誰もが安心して暮らせるまち」「いつまでも健康でお互いが支え合うまち」をつくるためには、まずは、まちづくりの目標Ⅰ「絆でつながる賑わいのまち」がなくては成し遂げられないと考えた。そのためには、世代間の交流が重要である。
- ・自治会を構成しているのは、60代の方が多く、30代～50代の方は子育てや仕事で忙しい人が多い。60代と30代～50代のつながり、交流がなければ、その下の世代である若者たちとの交流につながらないとする。

#### 【C班】 取り組むべき課題：地域活動の担い手の育成

（主な意見）

- ・地域活動の担い手の高齢化が進み、若者に繋いでいかなくてはいけない。
- ・東林地区では自治会の理事を若い人に就任してもらって積極的に活動している。
- ・第3期南区区民会議で、「若い世代のまちづくりへの参画促進」についてまとめたので、次のステップとして、地域での実践のタイミングであると思う。
- ・世代間交流についても、実践的な取組を行うと良いのでは。

**【D班】** 取り組むべき課題：安全・安心まちづくり（世代間の相互理解）

（主な意見）

- ・地域活動の担い手は高齢者が多い。これからの担い手の育て方を考える必要がある。
- ・若い世代もまちづくりに興味を持っているが、意見を言う場所が少ないのでは。
- ・30代～50代の人を取り込んで、それから若い世代も取り込んでいくと良い。
- ・30代～50代の人を集約するためには、仕事や子育ての都合もあるので、会議等の時間設定の検討も必要では。
- ・高齢者についても、若者の提案を受け入れる努力が必要である。

## 第4期南区区民会議に期待する討議内容について

第3期南区区民会議でグループワークを行い、抽出された現在の南区の課題について、別紙のとおり南区区ビジョンの4つの「まちづくりの目標」に合わせて整理しました。

これらの課題について、特に重要と思われるものについて、次のとおりまとめたので、第4期南区区民会議のテーマ検討の参考とし、南区の理想像である「湧きおこる7つの風 響きあう南区」を目指し、南区区ビジョンの一層の推進を図って頂きたいと思います。

### まちづくりの目標 絆でつながる賑わいのまちをつくりまします

南区魅力づくり・発掘（賑わいの創出）

南区には3大学、自然、文化施設などの良いところが多くあるが、認知度が高くはない。それらの再発見、ブランド化、情報発信をしていくための方策の検討が必要である。

地域活動の担い手の育成

地域活動の主軸の高齢化が進み、若い世代の参画促進が重要となっている。地域活動やまちづくりの担い手を発掘し、育成をする必要がある。

世代間交流の促進

若い世代の意見を吸い上げる方策の検討や若プロなどから抽出された意見を実現させる方法が課題となっている。

また、家族などの単位に限らず集まることができ、世代間交流ができる場所づくりについて、検討する必要がある。

現役世代（30代から50代）のコミュニティの場所づくり

子育てや高齢者の政策は、国・県・市において様々な取り組みがあるが、この世代についての、取り組みは少ない。子育てと介護が重なる世代であり、情報交換や相談できる場所づくりについて、検討する必要がある。

まちづくりの目標 都市と自然が調和するまちをつくります

高齢者の増加に伴う、交通不便地域における移動方策の検討  
高齢化が進んでいくにあたり移動制約者が増加していく。コミュニティバスなどの生活交通について方策を検討する必要がある。

商業・産業の活性化

若い世代の定住・定着を促進するためには、雇用の創出が一つ的手段となる。地域の商業・産業の活性化により、雇用の創出や昼間人口の増加を目指す必要がある。

まちづくりの目標 誰もが安心して暮らせるまちをつくります

安全・安心の強化方策の検討

南区は自転車事故や振り込め詐欺の被害が多い。安全・安心が守られていることは区の魅力にも繋がっていくため、安全・安心を強化する方策について検討が必要である。

防災意識の強化

既に自治会などで体制を整えている場所もあるが、常に防災意識を高めるための方策が必要であり、また、災害時に要支援者や高齢者を地域でどのようにサポートできるか検討する必要がある。

まちづくりの目標 いつまでも健康でお互いが支えあうまちをつくります

子育て支援の方策の検討

子育て支援について、地域で子育てを行えるようなネットワークづくりについて検討を図る必要がある。また、子供が安心して遊べる場所や近隣住民の理解も必要である。

高齢者支援の方策の検討

現在、65歳以上でも元気に活躍できる高齢者が多くいるので、高齢者がまちに出てきやすい仕組みづくりや地域活動の担い手として活躍できるよう、方策の検討が必要である。

併せて、認知症対策・予防、健康づくりの取り組みなど、区民が健康で居続けられるよう方策も検討する必要がある。

## 2 - 2 区民会議の検討テーマの選定

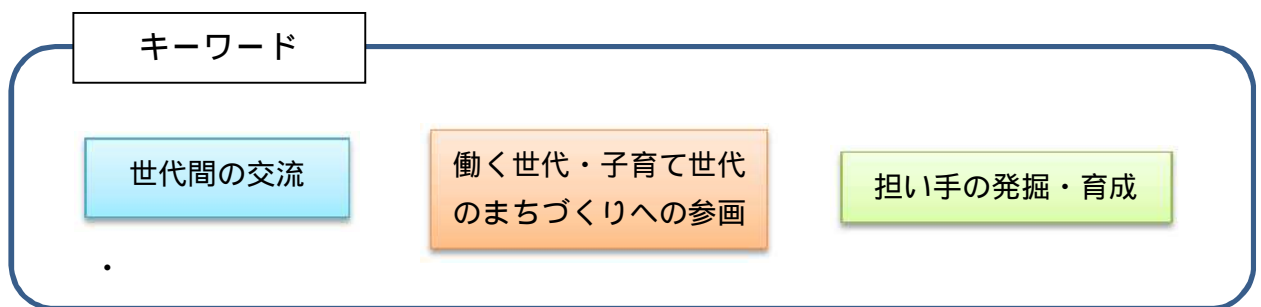
グループワークで検討した課題の共通する部分として、「世代間の交流」「働く世代・子育て世代のまちづくりへの参画」「担い手の発掘・育成」の3つのキーワードにまとめ、そのキーワードから「世代間交流促進のための仕組みづくり」を検討テーマとして選定した。

### 【テーマ選定理由】

南区区ビジョンに掲げる、まちづくりの目標の一つである「絆でつながる賑わいのまちをつくります」を達成するためには、世代間交流が重要である。現在、地域活動の担い手の中心は高齢者が比較的多く、働く世代・子育て世代や若い世代のまちづくりへの参画が少ない傾向が見られる。このため、地域コミュニティの希薄化や伝統・文化等の継承が困難となっている例が多く見られる。

第3期南区区民会議では、「若い世代のまちづくりへの参画促進」をテーマに検討を進め、提言書としてまとめた。その中で、地域コミュニティを継続するためには、地域活動の次の担い手となる「働く世代・子育て世代」の参画方法を検討する必要性が浮き彫りになった。

第4期南区区民会議では、この「働く世代・子育て世代」を中心に、高齢者から若い世代までがまちづくりに参画していくための「世代間交流促進のための仕組みづくり」をテーマとして選定した。



## キーワードから考えるテーマ

絆でつながる賑わいのまちをつくるためには、世代間交流が必要  
高齢者 働く世代・子育て世代 若者

若者の参画促進は、第3期で検討し、一定の方策を生み出した

世代間交流には、働く世代・子育て世代の参画と交流も必要

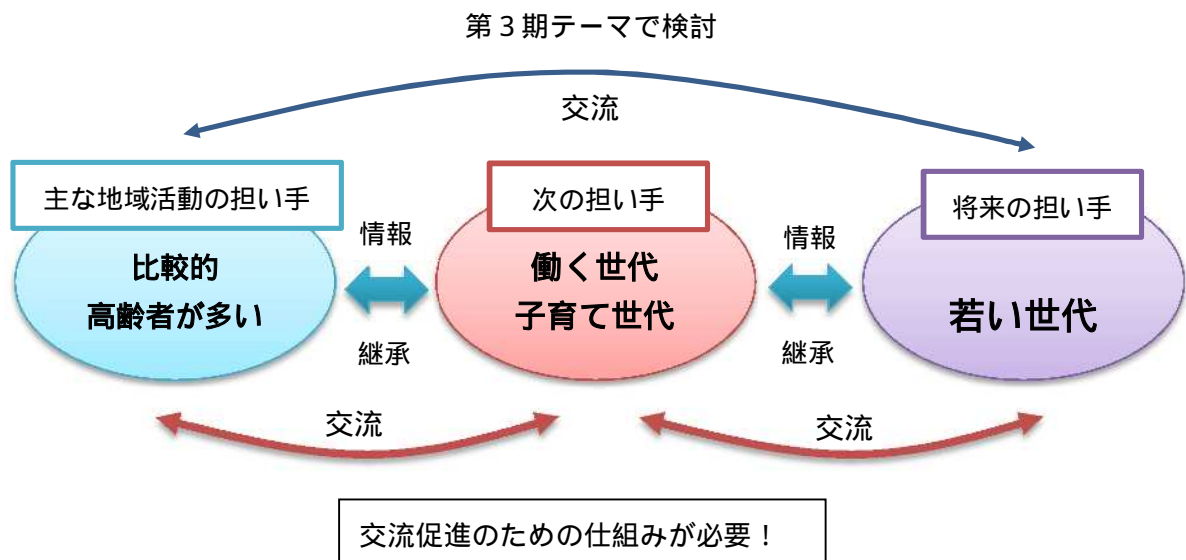
世代間交流を促進することにより、地域活動等の担い手が発掘・育成される

そのためには...



## 第4期検討テーマ

# 世代間交流促進のための仕組みづくり



## 2 - 3 取り組み方法

「世代間交流を促進するための仕組みづくり」について取り組むにあたり、課題を解決する方策を検討するために次の事業を実施することとした。

- ( 1 ) 世代間交流を促進するためのリーダーの育成事業  
世代間交流を促進するためのリーダーの育成（市民ファシリテーター）  
に力を入れている先進都市から講師を招き、勉強会を実施するもの。
- ( 2 ) 働く世代・子育て世代を対象としたインタビュー事業  
「働く世代」や「子育て世代」の地域活動に対する考え方について調査をするもの。
- ( 3 ) 無作為抽出型区民討議会の開催  
「働く世代」・「子育て世代」の地域活動に対する考え方を資料に南区民から幅広い意見を聴取することを目的として開催するもの。  
また、ファシリテートの手法の実践の場とするもの。
- ( 4 ) 「第4回 More 輝区～南区アイデアコンペ～」の共催  
（南区若者参加プロジェクト実行委員会主催）  
「家族のための南区」をテーマに、普段は忙しい働く世代・子育て世代が、家族と一緒に地域活動等に参加（参画）するためのアイデアや仕組みを提案していただくプレゼン大会を開催するもの。

### 3 課題解決に向けた取り組み

#### 3 - 1 世代間交流を促進するためのリーダーの育成事業

地域活動では、経験豊富な高齢世代の発言が多く、様々な世代と活発に意見交換が図られる手法（ファシリテート）を学ぶ必要があると考え、世代間交流を促進するためのリーダーの育成（市民ファシリテーター）に力を入れている先進都市から講師を招き、勉強会を実施した。

##### 1 開催日時

平成29年7月22日（土） 午後1時30分から4時30分まで

##### 2 会場 相模女子大学マーガレットホール4階 ガーデンホール （南区文京2-1-1）

##### 3 講師 6名

【静岡県牧之原市まちづくり協働ファシリテーター】

濱崎 一輝 氏

樽林 千夏 氏

坂口 和巳 氏

絹村 亜佐子 氏（牧之原市 市民グラフィッカー）



【静岡県牧之原市役所】

加藤 彰 氏（牧之原市政策協働部長）

宮崎 真菜 氏（牧之原市政策協働部企画政策課主事）

～ 静岡県牧之原市の取組内容～

静岡県牧之原市では、地域組織の連携強化を図るとともに合意形成の仕組みづくりを促進するため「地区自治推進協議会」を結成し、試行的な取組みとして「地域の絆づくり事業」を行っている。

この話し合いを有意義にするために、進行役として一般市民を対象に「まちづくり協働ファシリテーター（通称：市民ファシリテーター）」を育成し、市民による市民のための話し合いを行う持続可能な仕組みを目指している。



#### 4 参加人数 計54名(男:25名、女29名)

主な参加団体等

- ・南区区民会議
- ・南区若者参加プロジェクト実行委員会
- ・民生委員児童委員協議会
- ・各地区自治会
- ・社会福祉協議会
- ・市職員

#### 5 スケジュール

- (1) 開会
- (2) 講師紹介
- (3) 講義
- (4) グループワークの実践
- (5) 質疑・応答
- (6) 閉会

#### 6 総評

ファシリテートの技術は世代間交流の重要なツールと考えられる。

ファシリテートにより「楽しい場」を作るとは、世代を問わず気軽に発言することを可能とし、また、効率的に会議を進行することができるため、地域活動や会議に参加できる時間が特に限られる、働く世代や子育て世代などの方が参加しやすい環境を整えることの一助となる。

さらには、牧之原市のように市民がファシリテーターになることにより、住民主体の地方自治が推進される。

今後は、本研修を活かし、区内各地域での会議や地域活動を行っている団体で実践をする必要がある。



#### ～「牧之原市流ファシリテートスキル」について～

「牧之原市流ファシリテートスキル」については、研修当日に実際に行われた流れやファシリテートのポイントをまとめ、南区区民会議委員の選出団体の会議や地域活動で活用いただくよう、配布したものを。

## 牧之原市流ファシリテートスキル

### 会議中のファシリテーターの立ち回り

#### (1) 場の雰囲気づくり・チェック

音楽やアイスブレイクなどを活用して楽しい雰囲気を作っていく。  
拍手をしていないグループがいたら、拍手を促す。  
模造紙を使って作業をしているグループが、机を挟んで別々の場所から付箋を貼り付けている時は、同じ方向で一緒に並んで作業するように促す。  
発表時間に私語をする参加者がいないように、注意を促す。

#### (2) 会議の進行時間を気にかける

作業が遅れているグループを見つけたら、議題をまとめるように促す。  
必要に応じて、全グループに残りの時間をアナウンスする。

#### (3) 意見の集約

各グループから出された意見の要点を汲み取り、似たような意見をまとめて、集約していく。

### 心構え

「気楽に！ 楽しく！ 中身濃く！！」

### ルール

- 1 自分ばかり話しません
- 2 頭から否定しません
- 3 楽しい雰囲気を大切にします



### 進行方法

#### 1 開会

##### (1) ファシリテーターは、マイクを使用すると良い。

誰が会議を進行させているのか、最初に認識させる。

##### (2) アイスブレイクで、参加者の親近感を創ります。

「こんなことを言っているのかな...?」「場違いじゃないか...?」

緊張感のある堅苦しい雰囲気だと、人は思い切った行動がしづらい。

和気あいあいとした雰囲気の良いアイデアを出すための必要条件。  
ファシリテーター役にとっても、アイスブレイクは大事。会議の進行をや  
りやすくするためには、場の雰囲気をなごませること。

参考：7月22日（土）に実施したアイスブレイク

『輪ゴム渡しゲーム』

隣の人と手を繋いで、輪になる。

輪ゴムを人差し指にかけて隣の人へ移していく。

輪ゴムが1人に移るごとに1数えていく。

音楽をかけながら楽しい雰囲気で1分間でどれだけ輪ゴムを移動させ  
られたかを班対抗で競う。

## 2 グループでの事前準備

### (1) 自己紹介を1人1分で行います

1分という時間を体で覚え、要点を端的に話すことを意識してもらう。

自己紹介では話題を1つ設定する（ex.この夏やりたいこと）

1人1人が話す雰囲気を作っていく。

決められた時間で効率的な議論をするためには、参加者1人1人が時間  
配分を意識することが大事。

### (2) グループごとに役割分担を決めます

役割分担の例

ア 進行役（グループリーダー）をじゃんけんで決めます

「責任のある役割は遠慮したい...」「進行の方法がわからない...」

立候補を待っても、なかなか人は決まらない。

じゃんけんで勝った人に任せるのは、勝ってうれしい気持ちのまま、  
敬遠されがちな役割をやってもらうため。

負けた人に任せるのは、やる気を削いでしまうので厳禁。

イ 記録係（タイムキーパー）を決めます

ストップウォッチで時間を管理する役割。

グループリーダーの左隣に座っている人をお願いする。

ウ 発表者を決めます

グループで出た意見をまとめて、最後に発表をする役割。

記録係の左隣に座っている人をお願いする。

- (3) 資料は事前に配るのではなく、その都度、取りに来てもらいます  
4の役割分担で、役割に当たっていない人をお願いします。  
メンバー全員で会議を成立させるという「一体感」を創ることが大事。

### 3 討議と発表

- (1) テーマに沿って、付箋に自分の意見を書きます。  
( 付箋の色は、テーマごとに使い分けます。 )  
いきなり話し合いをすることは難しい。まずは付箋に自分の意見を書き、意見をまとめてもらう時間を設ける(5分程度)  
付箋は、発言したことと同じ意味を持つ。  
付箋1枚につき1つの意見。例えばグループが6名で、1人5個の付箋を書けば、それだけで30個のアイデアが出たことになる。
- (2) 発言の後は必ず拍手。その場をみんなで盛り上げよう  
拍手には、場を盛り上げるための大きな力がある。  
拍手をしていないグループがあれば、ファシリテーターが拍手するように誘導する。  
「自分の意見が受け入れられた」という感覚が大事。
- (3) 発表前には「作戦タイム」を設けて、メンバー全員で検討します  
子供も大人も「作戦タイム」という言葉にわくわくする。  
作戦タイムでは、グループの意見から「この意見を紹介したい」というものを3つほど決定し、文章の形で、新しい模造紙にまとめる。
- (4) 発表では全員が前に出ること、質問にも全員で答えます  
1人の発表者にすべてを任せないで、全員で質問への応答や補足説明などを行うようにする。

## 【補足】付箋を使った会議の方法

### (1) 付箋に意見を書いていく

「議論が一回りしているような...」「あの時の意見は何だっけ...?」  
口に出しただけでは消えてしまう意見も、付箋に書けば目に見える形で残っている。いつでも確認できる、いつでも書き足せる（議論の行方が目に見える形でわかる。）  
付箋だけではなく、イラストや図式を盛り込んでいくと更に効果的。

### (2) 付箋を模造紙に貼り付ける

付箋は発言と同じ意味を持つ。班で順番に模造紙に貼り付けていく。  
（模造紙に貼る時は、みんなに読みやすい方向で貼る）  
付箋を貼るときには、どうしてそう考えたのか、一言、二言で簡潔に説明する。  
全員の意見（付箋）が貼り終わるまで続ける。

### (3) 似た意見をまとめていく

付箋を貼り付けるときには、似た意見がないかを周囲に確認する。  
似た意見がある人は、貼ってあるものの隣に持ち札から貼り付ける。  
貼ってある付箋を移動させたり、付け足したり、マーカーでグルーピングしたりして、意見を目に見える形で集約させていく。  
マジックペンを使う際には、黄色は見えづらいためNG。

### 3 - 2 働く世代・子育て世代を対象としたインタビュー事業

現在、地域活動の担い手の中心は高齢世代であり、これらの活動の次の担い手となる「働く世代」や「子育て世代」が参画しやすい環境を整えていく必要がある。

そこで、この世代のまちづくりへの参画のために、まずは、地域活動への参画に対する考え方について調査を行った。

#### 1 アンケート回収枚数：556件

##### 【アンケート先】

- ・無作為抽出型区民討議会通知
- ・光明学園相模原高等学校附属光明幼稚園
- ・日産自動車相模原部品センター

#### 2 アンケートの結果

今回のアンケートを実施する前は、働く世代・子育て世代ともに、仕事や子育てが忙しく、時間を取ることが難しい世代であり、「休日はゆっくり休みたい」「家族で過ごしたい」などの意見によって地域活動には参加できていない結果を想定していた。

結果を見ると、地域活動に「参加していない」または「あまり参加していない」人が全体の約77%を占めているが、仕事や子育てが忙しいことも多い理由ではあったが、「どのような活動があるかわからない」という理由が一番多かった。

また、参加するために何が必要かとの問いには、「気軽に参加できる雰囲気づくり」が一番多く、次いで「興味を持つようなPR」「責任が重くない」という理由が多かった。（詳細はP19「3アンケート結果の詳細」を参照）

自由記述欄においても、「義務でなく気軽にできれば。」や「手伝い程度に気軽に参加したい。」などの参加することの負担感についての意見があげられた。

その他に、子育て世代からは「子どもを預けられれば参加できる」「子どもを連れて行ければ参加できる」との受け入れ環境についての課題があげられた。

また、「今は仕事や子育てが忙しいが、定年後や子育てが落ち着いたら参加したい」などの、参加するタイミングについての意見もあげられた。

このようなことから、働く世代・子育て世代が地域活動に参加しやすい環境づくりのためには、次のキーワードが解決のヒントと考えられる。

### どのような地域活動があるか、興味を持ってもらえるPR方法

様々な広報媒体で活動について周知はされているが、内容に興味が無い場合や自らが意識して情報を取りに行かなければ、情報が届かない状況にあるため、興味を持ってもらえるPR方法の検討が必要である。

### 気軽に参加できる環境づくり（選べる参加形態）

働く世代・子育て世代は、時間が無い中で地域活動に参加することに負担感を感じている。将来時間ができたら参加したいとの意見もあるので、まずは、運営主体ではないスポット的に運営を手伝うことやITを活用した参加方法など、気軽に参加できる環境づくりが必要である。

### 家族で参加できる態勢づくり

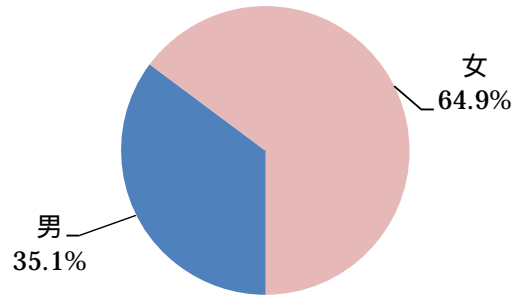
子育て世代の中には、地域活動に参加したいが子どもと一緒に参加しづらく思っている方がおり、参加の機会を逃している。子どもと一緒に、家族で参加しやすい態勢づくりが世代間交流の機会の創出や子ども達に地域に愛着を持ってもらうことで、将来の担い手づくりのチャンスとなると考えられる。

### 3 アンケート結果の詳細

端数処理により、百分率の合計が 100% とならない箇所があります。

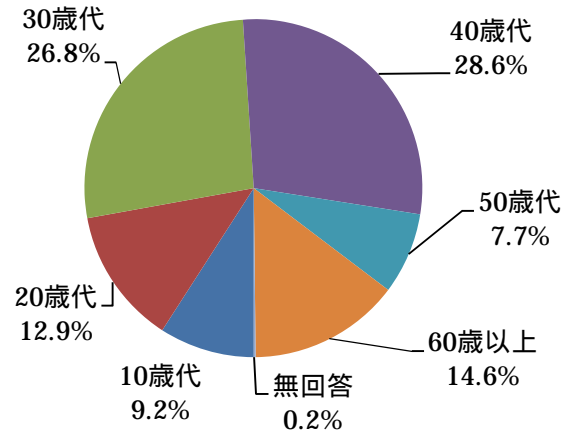
#### 問1 あなたの性別を教えてください

	回答数	構成比
(1) 男	195	35.1%
(2) 女	361	64.9%
無回答	0	0.0%
計	556	100.0%



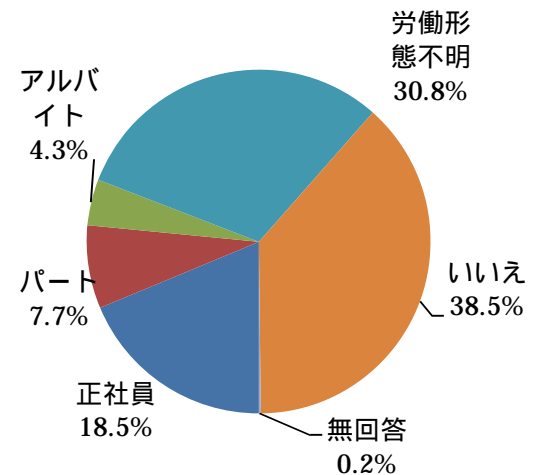
#### 問2 あなたの年齢を教えてください

	回答数	構成比
(1) 10 歳代	51	9.2%
(2) 20 歳代	72	12.9%
(3) 30 歳代	149	26.8%
(4) 40 歳代	159	28.6%
(5) 50 歳代	43	7.7%
(6) 60 歳以上	81	14.6%
無回答	1	0.2%
計	556	100.0%



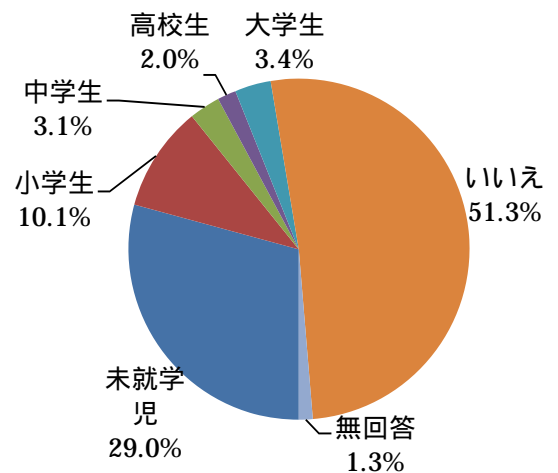
#### 問3 あなたは、今、仕事を持っていますか

	回答数	構成比
(1) 正社員	103	18.5%
(2) パート	43	7.7%
(3) アルバイト	24	4.3%
(4) 労働形態不明	171	30.8%
(5) いいえ	214	38.5%
無回答	1	0.2%
計	556	100.0%



#### 問4 あなたは、今、子育てをしていますか

	回答数	構成比
(1) 未就学児	161	29.0%
(2) 小学生	56	10.1%
(3) 中学生	17	3.1%
(4) 高校生	11	2.0%
(5) 大学生	19	3.4%

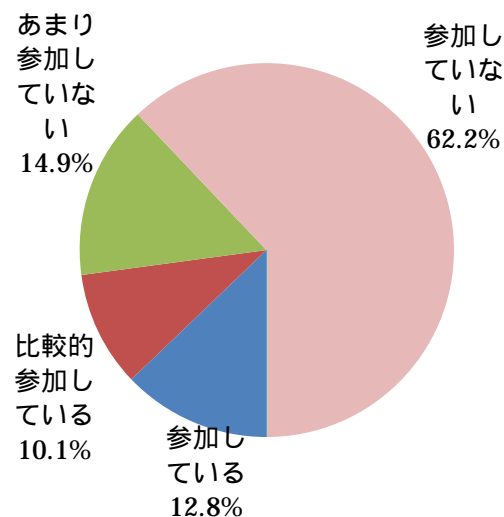




(6) いいえ	285	51.3%
無回答	7	1.3%
計	556	100.0%

問5 あなたは、地域活動に参加していますか

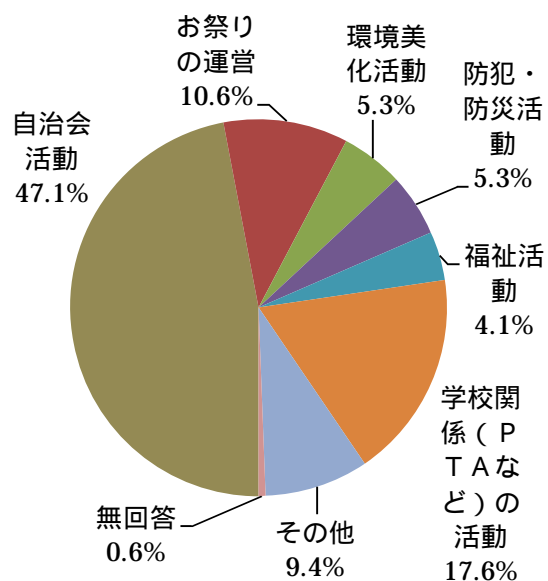
	回答数	構成比
(1) 参加している	71	12.8%
(2) 比較的参加している	56	10.1%
(3) あまり参加していない	83	14.9%
(4) 参加していない	346	62.2%
無回答	0	0.0%
計	556	100.0%



問6 あなたは、どのような地域活動に参加していますか（回答2つまで）

（問5で、（1）参加している、（2）比較的参加していると答えた方のみ）

	回答数	構成比
(1) 自治会活動	80	47.1%
(2) お祭りの運営	18	10.6%
(3) 環境美化活動	9	5.3%
(4) 防犯・防災活動	9	5.3%
(5) 福祉活動	7	4.1%
(6) 学校関係 （PTAなど）の活動	30	17.6%
(7) その他（記述回答等）	15	9.4%
無回答	1	0.6%
計	169	100.0%



【問6 記述回答】

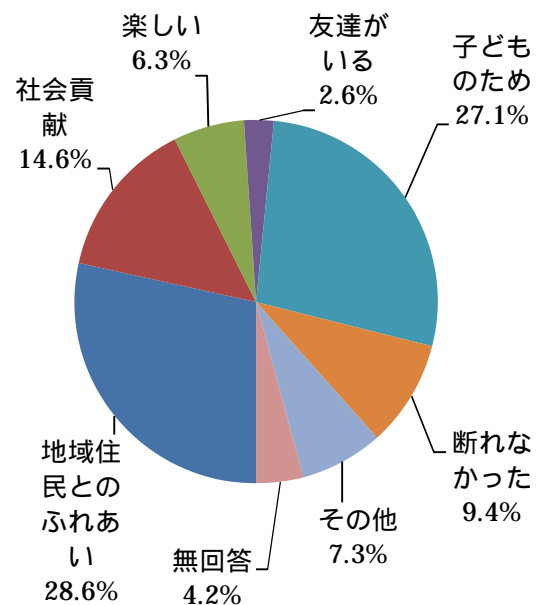
- ・こども会
- ・サークル 他1名
- ・地域の青少年にスポーツ指導
- ・Jr.リーダー
- ・相模原「宇宙の学校」
- ・高齢者福祉施設での楽器演奏

- ・産業廃棄物環境推進員
- ・相模原おやこ劇場
- ・伝道活動
- ・職場での地域連携活動
- ・親子サロンサポーター
- ・ファミリーサポート
- ・市関係事業 他1名

**問7 あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください(回答2つまで)**

(問5で、(1)参加している、(2)比較的参加していると答えた方のみ)

	回答数	構成比
(1) 地域住民とのふれあい	55	28.6%
(2) 社会貢献	28	14.6%
(3) 楽しい	12	6.3%
(4) 友達がいる	5	2.6%
(5) 子どものため	52	27.1%
(6) 断れなかった	18	9.4%
(7) その他(記述回答等)	14	7.3%
無回答	8	4.2%
計	192	100.0%



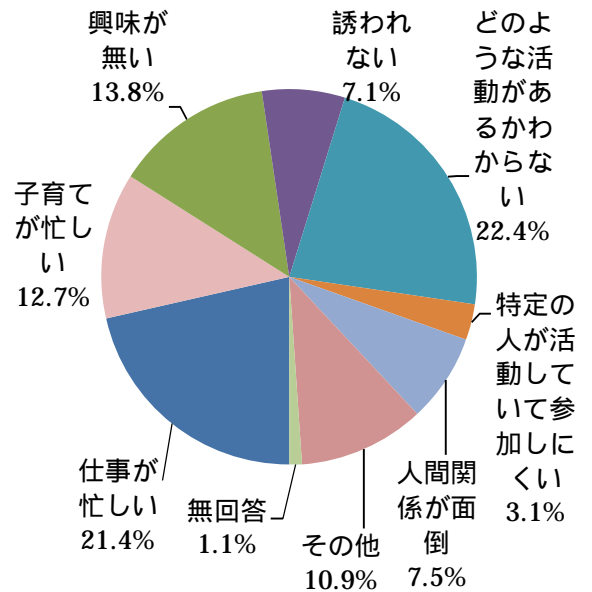
**【問7記述回答】**

- ・強制的な雰囲気のため。
- ・母親として小学校が始めてのため、少しでも知れるように。
- ・子供の頃に怖い思いをし大人への逃げ道がほしかった。
- ・自分の健康のため。
- ・仲間が出来る。異年齢の交流が出来る。語り合える。
- ・自治会活動は、高齢者ばかり、または同じ人ばかりで、やる方がいないので仕方なく。
- ・輪番制のため。 他4名
- ・地域のことについて知りたいため。
- ・有事の際の備えのため。
- ・無記入

**問8 あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由を教えてください(回答2つまで)**

(問5で、(3)あまり参加していない、(4)参加していないと答えた方のみ)

	回答数	構成比
(1) 仕事が忙しい	139	21.4%
(2) 子育てが忙しい	83	12.7%
(3) 興味が無い	90	13.8%
(4) 誘われない	46	7.1%
(5) どのような活動があるかわからない	146	22.4%
(6) 特定の人活動して参加しにくい	20	3.1%
(7) 人間関係が面倒	49	7.5%
(8) その他(記述回答等)	71	10.9%
無回答	7	1.1%
計	651	100.0%



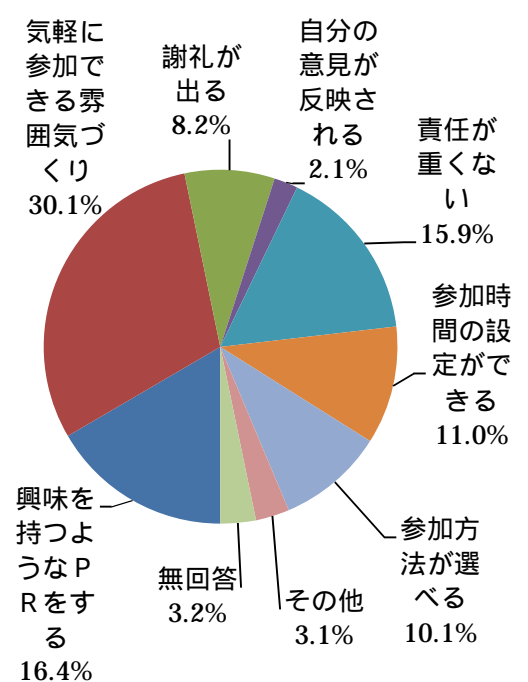
#### 【問8 記述回答】

- ・子育て・仕事・家事等で時間が限られ、運営側は難しい。【他14名】
- ・マンション住まいで、自治会に加入していないため。
- ・高齢、健康上の理由、病気、障がい等のため。【他12名】
- ・引っ越してきたばかりのため。【他5名】
- ・機会があれば参加したい。
- ・マンションの管理組合の役員に輪番でなれば、自治会担当で地域活動に参加する。
- ・孫の面倒を見ているため。
- ・介護のため。【他1名】
- ・独身でアパート一人暮らし。他市での勤務で、かかわりが少ないため。
- ・単身赴任で、家族が相模原市にいない。
- ・マンションの理事をしているので忙しい。
- ・自治会活動は主人(または妻)が行っているため。【他1名】
- ・母子家庭で子供を預けてまで参加したいと思わない。
- ・活動日・時間が合わない。【他1名】
- ・自治会の役員は順番のため、まだ回ってきていない。
- ・休みがないため。
- ・どこで募集しているか知らなかった。
- ・運営側での参加は、自分では能力不足・適さない。
- ・マンションでは回覧板等の地元の情報を得る機会がなく、地域活動の参加方法が分からない。
- ・趣味などに時間を使っており、関心を向けていなかった。【他2名】
- ・仕事が福祉活動・地域活動。

- ・自治会の役員は輪番で参加しているが、自主的にはしていない。祭りなどの行事は見る側で参加。
- ・参加資格にあてはまらない。
- ・フルタイムの仕事と家族の介護で時間がとれず、余裕もないため。
- ・チャンスがなかった。もう少し広範囲の活動へは参加している。
- ・去年PTAでお祭り担当をして楽しかったが1歳児連れで疲れることもあったので今年休もうと思った。
- ・当番になった年は参加、他は参加する場面が思いつかない。
- ・転勤で住んでいるので、地域になじみがない。【他1名】
- ・子供がいないので地域活動に触れる機会が少ない。
- ・地域に活動がないから。
- ・どうしたら参加できるのかわからない。
- ・誘われない。
- ・無記入【他1名】

問9 地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか（回答2つまで）

	回答数	構成比
(1) 興味を持つようなPRをする	155	16.4%
(2) 気軽に参加できる雰囲気づくり	284	30.1%
(3) 謝礼が出る	77	8.2%
(4) 自分の意見が反映される	20	2.1%
(5) 責任が重くない	150	15.9%
(6) 参加時間の設定ができる	104	11.0%
(7) 参加方法が選べる	95	10.1%
(8) その他（記述回答）	29	3.1%
無回答	30	3.2%
計	944	100.0%



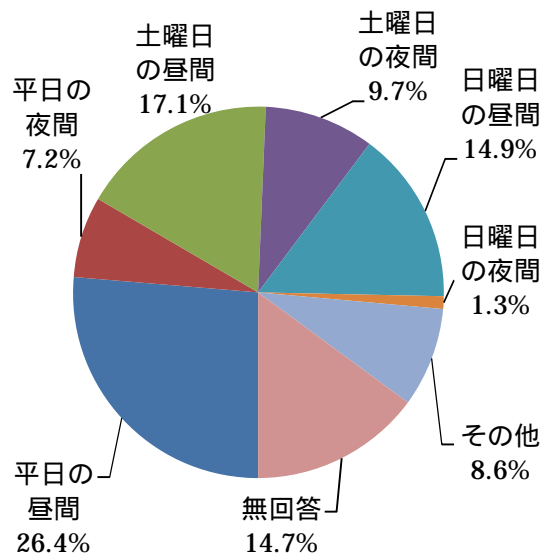
【問9 記述回答】

- ・人と関わることで子供自身もコミュニティが広がり、協調性が育まれると思うので出来るだけ参加はしたい。
- ・少人数で準備や手伝いをするの大変なので、多人数で分担できれば、面倒も減らせる。
- ・子供を預けられる、または、一緒に連れて行けること。
- ・特定の人で固まらない配慮が必要。(初めての人が参加しやすいように。)
- ・一度参加すると、任期があるのになかなかやめさせてくれない。
- ・世代間でお互いに年代の性質を理解して関わろうとする意識。それをハッキリ名言してくれる人が責められないことがよい。
- ・まだまだ田舎で旧住民が受け入れない。
- ・意識あるのみ。他力はだめ。
- ・情報の供給が受け入れやすいこと。
- ・ロードフェスタなどの行事があるのは知っているが、参加方法がわからない。(主催者側として)
- ・結果が明確に自覚できることが必要と思われる。
- ・考えたことがない。
- ・お弁当とかが出る。
- ・時間や生活にゆとりが持てるようになれば・・・。
- ・活動に参加するには、その内容に責任を持たないと出来ない。安易は不。
- ・最初のきっかけは、何かの強制力。得るものがあると実感出来れば、その後行くかも。
- ・お店の割引券をもらえる。
- ・本人の参加意欲がないと無理だと思う。
- ・地域住民との関係作り(隣人でも挨拶をしない場合が多い)。
- ・自らの退職後。
- ・市民生活への還元が分かりやすく示されること。
- ・重い負担を必要することはない。
- ・地域活動の必要性をPRする。
- ・賃貸に住んでいるので、回覧板等もなく参加したくてもどうしたら良いか不明。広報の方法が重要。
- ・目的別のチーム編成と任期付の評価チーム。
- ・子育て世代が参加しやすくなるよう、保育園の整備(特に乳児)。
- ・会社と市が連携する。
- ・無記入【他1名】

問10 あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください。

	回答数	構成比
(1) 平日の昼間	147	26.4%

(2) 平日の夜間	40	7.2%
(3) 土曜日の昼間	95	17.1%
(4) 土曜日の夜間	54	9.7%
(5) 日曜日の昼間	83	14.9%
(6) 日曜日の夜間	7	1.3%
(7) その他（記述回答等）	48	8.6%
無回答	82	14.7%
計	551	100.0%



#### 【問10記述回答】

- ・子供の預け先がないため、どの時間も難しい。
- ・子供の保育があるのであればいつでも。
- ・子育て中に参加できる時間はない。
- ・仕事が休みで未就学児を連れて行ける時間。
- ・子供の部活や習い事に合わせているので、予定が分からない。
- ・子供が家にいない時間。
- ・孫の親の休日が決まっていないため。
- ・不定休のため選ぶことができない。【他9名】
- ・昼夜仕事があるので時間が無い。
- ・仕事が休みの日。【他2名】
- ・急な変更があるので決められない。
- ・平日の午前中。
- ・曜日によって違う。【他3名】
- ・今は自分の自由な時間があまりない。
- ・現在は難しい。【他1名】
- ・土日は仕事のため、休みの日であれば。
- ・大型連休。
- ・用事がなければ。
- ・仕事に時間をとられているのに、休時間を使う余裕はない。
- ・自営業なので調整可能。
- ・自営業を辞める以外に参加できない。
- ・休日前の夜間。
- ・ない。【他5名】
- ・参加したくない。
- ・無記入【他3名】

問 1 1 問 6 の活動以外で、参加したい活動があれば御記入ください(参加したい活動)

- 1 子供と一緒に参加できるようなもの。(もちつき、芋掘り、お祭り、クリスマス会など)
- 2 相模原出身の有名人との地域PRイベント。区対抗イベント企画。アート、トリエンナーレ(田舎都会っぽく、精練されすぎないもの。)
- 3 自分と同じ状況の人が多くいる活動。仕事を持ちながら少しの時間でできる活動。  
活動を通して、子育ての悩みも話せてスッキリするかも。"
- 4 フリーマーケット
- 5 高齢化社会に向けて、介護のボランティアなどしてみたい。(知識を身に付けたい)
- 6 語学教室、外国人交流イベント
- 7 子供が楽しめるもの
- 8 親子で体を動かして楽しく活動できるイベント(スポーツ、ストレッチ等)
- 9 同じ年代の子育てしているママとの集まりで、気軽に行けるイベント。趣味の発表会。
- 10 子供たちのふれあい。
- 11 ハンドメイドの会(子連れで参加できるもの。) 農業・家庭菜園のレクチャー。
- 12 子供たちのイベント。
- 13 「ママのため・子供のための 」みたいな活動
- 14 イベント企画
- 15 旅行に行ったりしたい
- 16 ラジオ体操などの身体活動
- 17 平日で出来る事があれば検討します(火・水)
- 18 本に関するボランティア
- 19 お年寄りのボランティア。リハビリ活動を主にしたい
- 20 お祭り。来年子供が小学生なので、参加せざるを得ない。
- 21 障がい者支援
- 22 自然環境観察員制度
- 23 夏休みのラジオ体操
- 24 学校関係
- 25 森の保全整備
- 26 福祉活動
- 27 絵や制作などイベントの装飾
- 28 少人数での(10人程度)活動だと参加しやすい。高齢者でも出来るような多種、多様なテーマがあると参加しやすいと思う。

- 29 文化活動～皆で協力してつくりあげるようなもの
- 30 土いじり
- 31 工作活動。学生やアマチュアが活躍できる催しがあればいい。
- 32 人と交流がもてる活動
- 33 在日外国人の生活支援活動（日本語教育など）や捨てられた動物の命を救う活動（飼い主探しなど）に興味があります。
- 34 家から近くの場合（遠いところしかない）
- 35 動物愛護活動
- 36 松下村塾のように、お互いに得意なことを教えあったり、お茶を飲んだり地域の方たちと親しくなれるような活動
- 37 ゴミ拾い、祭り、ギネス記録更新など楽しみながら地域の方と触れ合えるイベント。参加率もよく地域貢献に繋がると思う。運転マナーが悪く（古淵だけ？）夜のバイク騒音が大きいので、治安が良くないと感じている。子供が安心して生活できるように、地域活動を通して改善できたらと思います
- 38 10代～20代の人々との次世代交流
- 39 公務員が偉そうに幅をきかせないで、住民主体の活動
- 40 無作為抽出型区民討議会など
- 41 世代間で交流できるような活動。
- 42 企業の就労体験
- 43 子供たちがスポーツを好きになるような活動。
- 44 学習のお手伝い
- 45 高齢化に向けて子供と一緒にできる福祉活動など
- 46 子供の芸術文化活動
- 47 野菜の育て方や食育につながるイベント。
- 48 映写会など。
- 49 ウォーキングと観光

問 1 2 その他（地域活動に参加すること等について、自由に御意見を御記入ください）

- 1 P T A 活動など持ち回りや立候補となっているが、どの家庭にも事情があるので、必ず1回というもおかしなルールである。結果名ばかりで活動に参加しない人がいて、周りが穴埋めしなくてはならない。活動回数・日時・頻度なども見直すべき。
- 2 子供会の役員をしているが、雑務に追われ、何のための会か忘れてしまう。地域活動も



何のためであるか目的や意味を考えなくてはならない。イベントなども立ち上げ者の情熱は薄れていき、こなしただけのものになってしまう。参加すること=こなすこと、ではなく、一緒に作り込む事であれば、地域活動に参加することが有意義と感じられるのでは。

- 3 地域活動に参加することで、近所付き合いや世代を超えて知り合いになったり、仲良くなったりでできた。
- 4 子連れで参加できるものが少ない。参加しづらい。
- 5 ある程度のグループが既にできていると、どんな活動でも参加しづらい。
- 6 地域活動に興味がない。
- 7 友達（ママ友）が増えると面倒。家族の時間を割いてまでやりたくない。
- 8 子供が小さく運営側にはなれない。子供に負担をかけたくない。住んでる地域の自治会役員も一部の人ばかりが負担になっていることはわかるが。何か良い方法を見つけていく時だと思う。
- 9 近所に知り合いがないので、参加しなければならない行事でなければ積極的には参加しない。
- 10 昔と違い、最近ほとんどの人が仕事を持っているので、自主的に地域活動に参加する人は少ないと思う。自分達に関わりのある活動なら、順番でもくじでも参加してもらおうようにしたほうが良いのでは。
- 11 小さい子がいると地域活動に参加できないので、保育してくれる場を整えて欲しい。
- 12 地域の行事などには、なるべくできるようにしているが、運営側や役員はできない。小さい子供がいて仕事をしていると難しいのが現状。役員を引き受けて下さる方々に感謝している。
- 13 ご近所さんのお誘いや回覧板等での募集があり、小さな子供連れでも参加できるものならお手伝いしたいと思う。
- 14 市民歴が短いので、なかなか参加しづらい。
- 15 子供がいる日は参加が難しい。子供と一緒に参加できる（理解がある）と有難く参加しやすい。
- 16 あまりにも回数が多いと参加できない場合があるから、数ヶ月に1度のペースにするのが良いと思う。
- 17 小さい子がいると大変でいくことができない。小さい子がいる家庭は免除にして欲しい。
- 18 地域の自治会活動に参加していますが、地域によっては年配の方が多い地域もあります。お祭り、その他の活動が負担になっていることもあるかもしれません。地域のコミュニケーションは必要ですが、それが負担になってしまえば、良くないのかも。義務ではなく気

軽にできれば。

- 19 ご家族連れならまだしも、自分のような単身者に地域活動がどれほどのメリットがあるのか分からない。問9の謝礼についての記載があるが、現在はボランティアなのか？だとしたら、もっと気軽に参加できるようであってほしい
- 20 自治会活動の主体が年配の方々。手伝おうと声を掛けても、年寄り扱いするなというような態度。協力しようとする気持ちがなくなった。これでは参加する若者は増えない。
- 21 引きこもりの30代。友人を亡くし、今はひとりぼっち。預貯金で暮らしているのですがお金がない。人見知り。
- 22 自治会・町内会といった組織では構成員が義務・義理という感が多い。NPO活動のような一つの目的に向かう活動が参加しやすい
- 23 自治会が重荷だ。本当に必要？みな活動が多いと思っている
- 24 まず”面倒”とういのが念頭にあるので、地域活動の情報は自ら収集しません。でも、興味がある地域活動には参加したいと思っています。
- 25 人生はますます長くなり、80・90まで生きるのが当たり前になってきた。収入を得る活動期も伸びるが、人生の充実をはかる活動は、ますます重要になるはず。当たり前のように皆が地域活動に参加したくなるような文化を育てていくことが必要。今は参加する人・しない人がハッキリ線引きされているというのが現実で残念です。
- 26 あえて地域活動というくりでなくても、自宅での近隣とのコミュニケーションをとることから始めようと思う。今までは両親がそうしていたが、自分も今までの挨拶を続けつつ、困っていることがあったら手伝えるような関係性を築けるように、心がけたいと考える。
- 27 現役世代を離れてから、人的なネットワークを維持するのに必要なものだと思いますし、活動することでの生き甲斐や、社会貢献によるやりがいも得られるので、参加しやすいものから参加できればと思います。
- 28 相模原市をよりよくしていくことに貢献でき、地元でのなかまづくりができる機会が得られれば嬉しく思います。
- 29 どんな活動がどこであるか分からないので知りたいです
- 30 仕事や子育てに忙しい中、皆さん時間をやりくりして子ども会などの役員をやっています。少しでも謝礼などが支払われれば、苦勞も報われるのに・・・と思います。
- 31 私くらいの年齢になると、介護者が多数いると思います。私自身もその一人。義母の介護をしています。私自身も下肢の障害があり、子供も自閉症です。そんな中でも自治会に参加しているが、時間がとれないのは事実です。もっと多くの方が”道のゴミを一つ拾う”そんな事から始めたらいかがでしょうか

- 32 活動。とは人が集って成し遂げる事ばかりではないと思う。交流も活動員が人々に呼びかけ集い、テーマに沿って会話をする場だけで生まれるものではない。私のように、そっとしておいてくれる大人の児童館は在ってほしいひとつだ。そんな自然と交流が生まれる場を作ってほしい。
- 33 徒歩で参加できる事が一番。大切だと思うが、なかなか実行できない。
- 34 地域活動に参加することによって、地域の課題も分かるし交流も図れるので良い事だと思います。
- 35 地域で何が必要か、地域住民の困っていること、テーマとは違いますが、世代間で今できることに関心を持っています。
- 36 突然のお便りに驚きましたが、楽しそうな企画ですね。
- 37 子供が興味を引く・やりたい!と思う企画が減っている。おばさん達しか楽しむことができない行事だ。よく「子供も楽しめるようにする地域づくり!」っていう口だけの大人がよくいる。その人達の行動を正したい。
- 38 今は育児で忙しく参加できないが、落ち着いたら参加してみたい。集金等は一度にまとめて回収してもらえたら、とても助かります
- 39 集合時間や担当する係りなど、縛られることがあると「出来ない」につながるので、個々が出来ることを出来る範囲でやる柔軟性が必要だと思う。以前のやり方を変える、出来るように変えていく事も大事
- 40 地方出身で、頼る人が身近にいないため、子供も小さく参加しても迷惑と思い参加しづらい。子供が成長したら、清掃活動は家族で参加したいと思います。
- 41 限られた団体に所属する人達が多く、意見が集約されやすいため、参加の意義を認めないです
- 42 とても良い事だと思いますが、大人になればなる程、一人では参加しづらいイメージがある
- 43 学校があるので参加できません。すみません。
- 44 ゴミ集積場まで行けない(行くのが困難な方)高齢者、障害者の方への支援者の募集をし、配置することが出来ないか。近隣での支援
- 45 相模原市社会福祉協議会「いるかバンク」に登録していますが、活動をさらに活発にしたい
- 46 現在在職中ですが、3月に退職予定です。地域活動の拠点をもっと参加しやすい方法で、地域を広めていけたらと思います。退職したら参加していきたいと思います。
- 47 最近、専業主婦の方が少なく、仕事をしている女性が多く、男性も仕事で忙しく、ボランティアに協力する人は同じ人になる事が多い印象。「無くなればいいのに・・・」との声も。

子供が小さい専業主婦の方は外に出る機会が少なく寂しい思いをしている気が・・・ボランティアの間、保育をしてもらえる・謝礼が出る等があれば、気分転換にもなるし、参加してくれるかも。

48 現在 66 才。体力がある間に、地域コミュニケーションを活性化する環境を整える活動に協力したい。

49 人・各々・生まれ・育ち・地域の違う中での活動、内容が理解できる事の大切さ、仲間の大切さ。

50 子供が小中学生の頃は参加できる活動が多かったですが、それ以上になると、子供の興味の持てるようなものが無く、疎遠になっていく気がします。

51 地域の役員さんの顔ぶれが替わらず一緒なので、行事内容に興味を持てない。役員さんを対象にした研修等をもってもらいたい。

52 よくわからない

53 同世代の交流は、学校生活などを通してありますが、色々な世代との交流は少ないので、そうした方々と一緒に活動できる機会があれば良いと思います。

54 来場者としては、お祭り等のイベントに参加していると思うが、運営側となると、機会が無かったと思う。自治会に加入しているが、行事等の期日が過ぎてから回覧板がまわってくることが多い。

55 忙しい方、興味の無い働き盛りの年令よりも元気な定年退職された世代や、子育てを卒業された世代の人生経験豊富な方々の活動を期待します。

56 地域活動と聞くと、エネルギー（元気じゃないと参加できない感じ）なイメージで気後れする。ゆったりした時間を共有するだけでも良いと思うが、それは地域活動ではないのか？

57 地域清掃には毎回参加している。清掃や除草など、目に見えて結果が出てくるものは今後も参加したい

58 新聞を購読していない為、広報に触れる機会もないので（コンビニ等に置いてあるのは知っている）地域活動が行われていることも知らないで、参加意欲がわからない。数年前に転入して、自治会にも加入しているが、地域の結びつきは全く無い状態です。

59 9月に引っ越してきました。ゴミや車の運転、色々なマナーが以前の地域と比べて悪すぎて、これから住み続けるうえで不安を感じます。タバコのポイ捨てなどもひどい。

60 地域的に人が少ないため、活動に参加する人もとても少ない。昔から高齢の行事も無理して行っていると感じる。状況に応じて減らしてもよいでは。運営側が大変。

61 3000人分の郵送費がもったいない

62 これまで地域活動に関わらなかったのは、今まできっかけが無かったことだと思う。今

回こういったきっかけを大事に出来たらと思う。

63 心がけは良い事だとも思う

64 高齢者が気軽に参加できる活動は必要と思うが、高齢者だけが集まるのではなく、若者・子供と一緒に参加できるようなものが良いと思う。

65 運転免許証が無いので、車を使わずに出掛けられる範囲であること

66 P T A や自治会活動等の役員を経験したが、拘束時間が多いのにすべてボランティアでした。仕事を休む分給料が減るので、少しでも謝礼が出たら良いと思う

67 定年退職したら、自分の資格を生かして、地域活動をしたい。

68 地域活動に参加することは、地域の活性化や人々との交流もでき、一人暮らしの若者や高齢者にとって、よいきっかけだと思う。情報不足により活動実態を知らずに参加できないのはもったいないと思う。ネット利用で調べる情報ではなく、身近で目にする機会を増やしてはどうか。

69 転居や、子育てが終わった人達は、地域活動に入るきっかけがないので、積極的に参加しにくいと思う

70 参加して初めて意見も出て関心が湧くのではないのでしょうか？すべも知らず、と奥から眺めているばかりでは、前に進まないと思います。これは自分への反省です。

71 子供が小さくなくても（小・中学生）運営側になるのは大変だと思う。何か参加しやすい形はないのかと考えています。

72 交流が苦手なので、なかなか機会が無い

73 祝日もしくは日曜日にこのような会を開催していただきたい

74 地域活動に関する情報の一部が入手できていないような気がする。まちセンなどの掲示板等で、募集している活動と、その詳しい情報の掲載一覧が見られれば参加しやすく助かります。ガーデニングが趣味で、植物に関する活動にも興味があります

75 町田市の子供センターによく行きます。町田市には参加したい地域活動がたくさんある。相模原市ではほとんど無い。家からの距離もあるし、魅力を感じない。施設の人も怖いし、入りにくい。

76 安全で住みやすい街づくりには、地域活動が大切だと思います。参加しやすい活動があれば検討します

77 里親制度について大変興味があったのですが、年をとって体が動けなくなりました。役に立つことがあれば何かしたいと思う気持ちはあります。

78 大沼自治会の中に民踊（盆踊り等）の会を立ち上げ、楽しく活動をしています。盆踊り・ふるさと祭り・自治会の会員交流会等、積極的に参加をしています

79 今回のお手紙で初めて知りましたが、とてもよい活動をされていると思いました。当日

は都合がつかず、また機会があれば参加したいです。

- 80 必要なことがあれば、自治体の職員が公費でおこなえばよのではないか。
- 81 自分もそうだが、働いている方が多いので、災害の時・具合が悪くなった時などは、地域で助け合いたいと思っています。普段から助け合えるような人間関係づくりを考えていきたい。また、世代を超えた方々とも交流して、多様な考え方などを学びたい。
- 82 誰でも参加できる雰囲気作りは大切だと思う
- 83 地域活動に参加することの以前に、地域活動そのものについて何も知らない。
- 84 子供が小学校に入り、行動範囲が広がったことから、日ごろから大人と子供が地域活動と一緒に参加し、防犯の観点からも、近所にどんな人達がいるのか、また自分自身も覚えてもらうことの必要性を感じている。大人が積極的に（楽しそうに）参加する姿を見せることで、次世代にも繋がると思う。
- 85 東林間の夏の阿波踊りに中学生ボランティアの子供たちが協力していることに大変感謝しています。とても力になっていると思います。
- 86 70歳になり、今は健康で過ごせるようになりました。これからは世の中にお返しをする時間を持てたらと思い、人の助けをしたいと思います
- 87 単身者には地域活動は参加しづらい。
- 88 参加することによる、地域内の人的交流・コミュニケーションの活性化が期待されるの  
は言うまでもないこと
- 89 別の地域から移り住んでいるので、相模原に対する想いの様なものがない。イベントがあっても意欲的に盛り上げようとはならない
- 90 いずれ時間が出来たら、ボランティアや福祉活動等、参加したい。
- 91 地域活動は、安心・安全が守られることが大前提。（公務員が下手にでなければ、参加したくない。）地域住民としてはやりにくい。
- 92 フルタイムの仕事から帰って、家事をこなさなければならないので、なかなか地域活動参画の時間はとれないが、色々感じる事・考えることはある。時間にしばられないネット参加型の会議や、気軽に投稿できる掲示板のような仕組みがあると良い。
- 93 実際に、地域活動に参加していないのでわからない。広域の活動へは参加している。
- 94 自治会館と児童館が同じ施設内にあるような所があれば、無限に広がるイベントが出来そう。異年齢の交流の有意義、大切さが浸透していけば、もっと活気のある地域が増えていき、心豊かに暮らしを遅れそう。
- 95 仙台より引越してきて、震災を体験してやはり近所付き合いは大切だと実感した。不安な時こそ、地域の皆様と声を掛け合ったりすることで、少しでも楽になったあの時を思い出します。今後も地域活動にはできるだけ参加したい。

- 96 息子夫婦と同居している人で、高齢の親を会員として、高齢を理由に班長などをやらない。それならば、息子夫婦に引き継ぐ仕組みになると良い。
- 97 子供が大きくなってから転居したため、知り合いができにくい。働いているため老人会等の年齢でもなく、地域に知り合いが全くいない。古くから住んでいる方との交流の持ち方もわからない。
- 98 学習ボランティアに興味があるが、受験等のためだと責任が重いので、経済的困難家庭のお子さんのサポート、高齢者の方の学習サポート等、少し興味がある。
- 99 地方出身で、単身でこの町に来た若い人達にとって、いきなり「地域活動に参加」というのは責任が重く、知り合いもいないので不安である。まずは、市の若者だけで食事会・飲み会などのコンパやレクリエーションイベントを行うなどして、知り合いを増やしたい。
- 100 小さい子供がいるママは地域活動をしたと思って、日々の子育てで疲れている。保育園の一時保育が気軽に利用できるとよい。ママが働きやすい環境づくりが必要。
- 101 そもそも地域活動についてよく理解していない。どんな活動があるか、なにが地域活動か、地域の人の健康を守るのも地域活動なのか、、、よくわからない。もっと地域活動というものを活性化させ、興味が湧くようにしたら地域全体が今以上に活発で良い環境になると思う。
- 102 そもそも、どのように地域活動に参加できるのかわからない。
- 103 30代・40代の勧誘方法を知りたい。(地元の住民少なくなってきているため)
- 104 町全体が昔からの有力者中心で新しさを感じられない。活性化されていない。
- 105 転居してきたばかりで、情報の取得方法がわからない。入籍・転入してきた方への広報紙や情報誌の存在を紹介すべきだと思う。
- 106 地域活動への参加について仕事や家の用事と両立することは難しい。
- 107 自分の生活の中に必要を全く感じない人は参加することに興味がわかないと思う。  
参加する場所にも問題がある。公共の建物は不便なところ・暗い・くつろげない・ダサイなど魅力がない。問題は、地域活動に参加しなくても生活に何の不便もないということころである。
- 108 子ども会で参加を募集すると集まると思う。(子供や学生が誘ったほうが参加しやすい)
- 109 今は仕事が忙しく参加の意思はないが、リタイア後など時間が出来たとき、手伝い程度で気軽に参加できるものなら行きたい。活動によっては、男が参加することで何かしらの責任者を依頼されるため、今は参加したくない。
- 110 盆踊りや祭りの太鼓がうるさい。除夜の鐘や保育園が騒音扱いされる時代なので、もう少し音について考えて欲しい。
- 111 土日しか参加できない若い世代をどうやって参加させるかが将来の課題である。

- 112 最近の地域活動（主に自治会活動）は役員の義務的な活動が多い。もっと参加者が楽しめる取組を導入すべき。
- 113 自治会や地域のおまつりに参加し、多くの人とふれあい、楽しむことは素敵なことと思う。
- 114 あくまでも、自主活動・ボランティア活動だと思う。参加を強制させたりはなくして、参加したいと思うような活動をするとういと思う。
- 115 地域住民へのアナウンス方法や休みの多い曜日等、工夫すれば参加率UPにつながると思う。



「南区民アンケート」(「あなたは、今、子育てをしていますか」を列項目にした)クロス集計表

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたの性別を教えてください」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男	195	35.1%	18	11.2%	17	30.4%	4	23.5%	4	36.4%	9	47.4%	140	49.1%	3	42.9%
女	361	64.9%	143	88.8%	39	69.6%	13	76.5%	7	63.6%	10	52.6%	145	50.9%	4	57.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	161	100.0%	56	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	19	100.0%	285	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	556		161		56		17		11		19		285		7	

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたの年齢を教えてください」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代	51	9.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	50	17.5%	0	0.0%
20歳代	72	12.9%	16	9.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55	19.3%	1	14.3%
30歳代	149	26.8%	99	61.5%	16	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	34	11.9%	0	0.0%
40歳代	159	28.6%	45	28.0%	38	67.9%	17	100.0%	4	36.4%	8	42.1%	44	15.4%	3	42.9%
50歳代	43	7.7%	1	0.6%	2	3.6%	0	0.0%	5	45.5%	11	57.9%	23	8.1%	1	14.3%
60歳以上	81	14.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	79	27.7%	1	14.3%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
合計	556	100.0%	161	100.0%	56	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	19	100.0%	285	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	555		161		56		17		11		19		285		6	

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたは、今、仕事を持っていますか」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
正社員	103	18.5%	17	10.6%	15	26.8%	5	29.4%	6	54.5%	8	42.1%	50	17.5%	2	28.6%
パート	43	7.7%	6	3.7%	14	25.0%	6	35.3%	0	0.0%	4	21.1%	13	4.6%	0	0.0%
アルバイト	24	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	20	7.0%	2	28.6%
他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
労働形態不明	171	30.8%	59	36.6%	18	32.1%	5	29.4%	0	0.0%	5	26.3%	81	28.4%	3	42.9%
いいえ	214	38.5%	79	49.1%	9	16.1%	1	5.9%	3	27.3%	2	10.5%	120	42.1%	0	0.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
合計	556	100.0%	161	100.0%	56	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	19	100.0%	285	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	555		161		56		17		11		19		284		7	

<b>「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたは、地域活動に参加していますか」の関係</b>																
選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加している	71	12.8%	20	12.4%	11	19.6%	2	11.8%	4	36.4%	2	10.5%	28	9.8%	4	57.1%
比較的参加している	56	10.1%	19	11.8%	12	21.4%	6	35.3%	0	0.0%	2	10.5%	17	6.0%	0	0.0%
あまり参加していない	83	14.9%	36	22.4%	9	16.1%	2	11.8%	3	27.3%	1	5.3%	32	11.2%	0	0.0%
参加していない	346	62.2%	86	53.4%	24	42.9%	7	41.2%	4	36.4%	14	73.7%	208	73.0%	3	42.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	161	100.0%	56	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	19	100.0%	285	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	556		161		56		17		11		19		285		7	
<b>「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたは、どのような地域活動に参加していますか」の関係</b>																
選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自治会活動	80	47.1%	26	52.0%	13	38.2%	7	53.8%	2	28.6%	2	40.0%	27	47.4%	3	75.0%
お祭りの運営	18	10.6%	3	6.0%	2	5.9%	2	15.4%	2	28.6%	1	20.0%	8	14.0%	0	0.0%
環境美化活動	9	5.3%	3	6.0%	3	8.8%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	0	0.0%
防犯・防災活動	9	5.3%	1	2.0%	2	5.9%	0	0.0%	1	14.3%	1	20.0%	3	5.3%	1	25.0%
福祉活動	7	4.1%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.5%	0	0.0%
学校関係(PTAなど)の活動	30	17.6%	13	26.0%	11	32.4%	2	15.4%	2	28.6%	1	20.0%	1	1.8%	0	0.0%
その他	16	9.4%	4	8.0%	1	2.9%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	10	17.5%	0	0.0%
無回答	1	0.6%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	170	100.0%	50	100.0%	34	100.0%	13	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	57	100.0%	4	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	169		50		33		13		7		5		57		4	
<b>「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください」の関係</b>																
選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地域住民とのふれあい	55	28.6%	13	22.4%	7	19.4%	2	16.7%	2	28.6%	3	50.0%	26	38.2%	2	40.0%
社会貢献	28	14.6%	5	8.6%	1	2.8%	1	8.3%	1	14.3%	1	16.7%	17	25.0%	2	40.0%
楽しい	12	6.3%	3	5.2%	3	8.3%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	5	7.4%	0	0.0%
友達がいる	5	2.6%	1	1.7%	1	2.8%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	0	0.0%
子どものため	52	27.1%	26	44.8%	17	47.2%	3	25.0%	1	14.3%	2	33.3%	3	4.4%	0	0.0%
断れなかった	18	9.4%	4	6.9%	3	8.3%	1	8.3%	2	28.6%	0	0.0%	7	10.3%	1	20.0%
その他	14	7.3%	3	5.2%	2	5.6%	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	10.3%	0	0.0%
無回答	8	4.2%	3	5.2%	2	5.6%	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
合計	192	100.0%	58	100.0%	36	100.0%	12	100.0%	7	100.0%	6	100.0%	68	100.0%	5	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	184		55		34		10		7		6		67		5	

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由を教えてください」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
仕事忙しい	139	21.4%	31	15.9%	14	26.9%	5	35.7%	1	10.0%	7	26.9%	79	22.6%	2	40.0%
子育てが忙しい	83	12.7%	65	33.3%	11	21.2%	3	21.4%	1	10.0%	2	7.7%	1	0.3%	0	0.0%
興味が無い	90	13.8%	14	7.2%	4	7.7%	2	14.3%	4	40.0%	3	11.5%	62	17.8%	1	20.0%
誘われない	46	7.1%	15	7.7%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.5%	27	7.7%	0	0.0%
どのような活動があるかわからない	146	22.4%	43	22.1%	7	13.5%	1	7.1%	0	0.0%	6	23.1%	88	25.2%	1	20.0%
特定の人が活動していて参加しにくい	20	3.1%	2	1.0%	1	1.9%	2	14.3%	0	0.0%	1	3.8%	14	4.0%	0	0.0%
人間関係が面倒	49	7.5%	13	6.7%	3	5.8%	1	7.1%	2	20.0%	1	3.8%	28	8.0%	1	20.0%
その他	71	10.9%	10	5.1%	10	19.2%	0	0.0%	2	20.0%	3	11.5%	46	13.2%	0	0.0%
無回答	7	1.1%	2	1.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.1%	0	0.0%
合計	651	100.0%	195	100.0%	52	100.0%	14	100.0%	10	100.0%	26	100.0%	349	100.0%	5	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	644		193		51		14		10		26		345		5	

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
興味を持つようなPRをする	155	16.4%	43	15.7%	17	16.8%	3	10.3%	6	31.6%	3	10.0%	80	16.8%	3	21.4%
気軽に参加できる雰囲気づくり	284	30.1%	97	35.4%	30	29.7%	8	27.6%	4	21.1%	7	23.3%	135	28.3%	3	21.4%
謝礼が出る	77	8.2%	14	5.1%	12	11.9%	4	13.8%	2	10.5%	2	6.7%	42	8.8%	1	7.1%
自分の意見が反映される	20	2.1%	5	1.8%	6	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	7	1.5%	1	7.1%
責任が重くない	150	15.9%	54	19.7%	11	10.9%	6	20.7%	5	26.3%	4	13.3%	68	14.3%	2	14.3%
参加時間の設定ができる	104	11.0%	31	11.3%	14	13.9%	0	0.0%	2	10.5%	5	16.7%	50	10.5%	2	14.3%
参加方法が選べる	95	10.1%	19	6.9%	6	5.9%	6	20.7%	0	0.0%	5	16.7%	58	12.2%	1	7.1%
その他	29	3.1%	6	2.2%	3	3.0%	2	6.9%	0	0.0%	2	6.7%	15	3.1%	1	7.1%
無回答	30	3.2%	5	1.8%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	22	4.6%	0	0.0%
合計	944	100.0%	274	100.0%	101	100.0%	29	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	477	100.0%	14	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	914		269		99		29		19		29		455		14	

「あなたは、今、子育てをしていますか」と「あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください」の関係

選択項目	総計		未就学児		小学生		中学生		高校生		大学生		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
平日の昼間	147	26.4%	67	41.6%	14	25.0%	3	17.6%	2	18.2%	2	10.5%	58	20.4%	1	14.3%
平日の夜間	40	7.2%	9	5.6%	2	3.6%	3	17.6%	1	9.1%	2	10.5%	21	7.4%	2	28.6%
土曜日の昼間	95	17.1%	25	15.5%	7	12.5%	5	29.4%	4	36.4%	5	26.3%	49	17.2%	0	0.0%
土曜日の夜間	54	9.7%	8	5.0%	10	17.9%	2	11.8%	1	9.1%	2	10.5%	30	10.5%	1	14.3%
日曜日の昼間	83	14.9%	27	16.8%	12	21.4%	1	5.9%	0	0.0%	1	5.3%	39	13.7%	3	42.9%
日曜日の夜間	7	1.3%	2	1.2%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	3	1.1%	0	0.0%
その他	48	8.6%	9	5.6%	3	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	15.8%	33	11.6%	0	0.0%
無回答	82	14.7%	14	8.7%	7	12.5%	3	17.6%	3	27.3%	3	15.8%	52	18.2%	0	0.0%
合計	556	100.0%	161	100.0%	56	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	19	100.0%	285	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	474		147		49		14		8		16		233		7	

「南区民アンケート」(「あなたは、今、仕事を持っていますか」を列項目にした)クロス集計表

「あなたは、今、仕事を持っていますか」と「あなたの性別を教えてください」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男	195	35.1%	61	59.2%	4	9.3%	10	41.7%	0		65	38.0%	55	25.7%	0	0.0%
女	361	64.9%	42	40.8%	39	90.7%	14	58.3%	0		106	62.0%	159	74.3%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	103	100.0%	43	100.0%	24	100.0%	0		171	100.0%	214	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	556		103		43		24		0		171		214		1	

「あなたは、今、仕事を持っていますか」と「あなたの年齢を教えてください」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代	51	9.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	20.8%	0		3	1.8%	43	20.1%	0	0.0%
20歳代	72	12.9%	17	16.5%	0	0.0%	10	41.7%	0		25	14.6%	19	8.9%	1	100.0%
30歳代	149	26.8%	21	20.4%	10	23.3%	1	4.2%	0		59	34.5%	58	27.1%	0	0.0%
40歳代	159	28.6%	39	37.9%	24	55.8%	3	12.5%	0		60	35.1%	33	15.4%	0	0.0%
50歳代	43	7.7%	22	21.4%	4	9.3%	0	0.0%	0		10	5.8%	7	3.3%	0	0.0%
60歳以上	81	14.6%	4	3.9%	5	11.6%	4	16.7%	0		14	8.2%	54	25.2%	0	0.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	103	100.0%	43	100.0%	24	100.0%	0		171	100.0%	214	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	555		103		43		23		0		171		214		1	

「あなたは、今、仕事を持っていますか」と「あなたは、今、子育てをしていますか」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
未就学児	161	29.0%	17	16.5%	6	14.0%	0	0.0%	0		59	34.5%	79	36.9%	0	0.0%
小学生	56	10.1%	15	14.6%	14	32.6%	0	0.0%	0		18	10.5%	9	4.2%	0	0.0%
中学生	17	3.1%	5	4.9%	6	14.0%	0	0.0%	0		5	2.9%	1	0.5%	0	0.0%
高校生	11	2.0%	6	5.8%	0	0.0%	2	8.3%	0		0	0.0%	3	1.4%	0	0.0%
大学生	19	3.4%	8	7.8%	4	9.3%	0	0.0%	0		5	2.9%	2	0.9%	0	0.0%
いいえ	285	51.3%	50	48.5%	13	30.2%	20	83.3%	0		81	47.4%	120	56.1%	1	100.0%
無回答	7	1.3%	2	1.9%	0	0.0%	2	8.3%	0		3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	103	100.0%	43	100.0%	24	100.0%	0		171	100.0%	214	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	549		101		43		22		0		168		214		1	

「あなたは、今、仕事をしていますか」と「あなたは、地域活動に参加していますか」の関係																
選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加している	71	12.8%	15	14.6%	6	14.0%	1	4.2%	0		18	10.5%	31	14.5%	0	0.0%
比較的参加している	56	10.1%	8	7.8%	9	20.9%	1	4.2%	0		24	14.0%	14	6.5%	0	0.0%
あまり参加していない	83	14.9%	11	10.7%	5	11.6%	3	12.5%	0		29	17.0%	35	16.4%	0	0.0%
参加していない	346	62.2%	69	67.0%	23	53.5%	19	79.2%	0		100	58.5%	134	62.6%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	103	100.0%	43	100.0%	24	100.0%	0		171	100.0%	214	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	556		103		43		24		0		171		214		1	
「あなたは、今、仕事をしていますか」と「あなたは、どのような地域活動に参加していますか」の関係																
選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自治会活動	80	47.1%	18	58.1%	11	50.0%	1	50.0%	0		24	41.4%	26	45.6%	0	
お祭りの運営	18	10.6%	5	16.1%	1	4.5%	1	50.0%	0		8	13.8%	3	5.3%	0	
環境美化活動	9	5.3%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	0		5	8.6%	2	3.5%	0	
防犯・防災活動	9	5.3%	2	6.5%	1	4.5%	0	0.0%	0		3	5.2%	3	5.3%	0	
福祉活動	7	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		3	5.2%	4	7.0%	0	
学校関係(P T Aなど)の活動	30	17.6%	5	16.1%	5	22.7%	0	0.0%	0		10	17.2%	10	17.5%	0	
その他	16	9.4%	1	3.2%	2	9.1%	0	0.0%	0		5	8.6%	8	14.0%	0	
無回答	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		0	0.0%	1	1.8%	0	
合計	170	100.0%	31	100.0%	22	100.0%	2	100.0%	0		58	100.0%	57	100.0%	0	
回答者数(合計 - 無回答)	169		31		22		2		0		58		56		0	
「あなたは、今、仕事をしていますか」と「あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください」の関係																
選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地域住民とのふれあい	55	28.6%	11	36.7%	7	25.9%	1	33.3%	0		15	23.4%	21	30.9%	0	
社会貢献	28	14.6%	6	20.0%	3	11.1%	1	33.3%	0		9	14.1%	9	13.2%	0	
楽しい	12	6.3%	1	3.3%	2	7.4%	0	0.0%	0		2	3.1%	7	10.3%	0	
友達がいる	5	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		2	3.1%	3	4.4%	0	
子どものため	52	27.1%	3	10.0%	10	37.0%	0	0.0%	0		22	34.4%	17	25.0%	0	
断れなかった	18	9.4%	6	20.0%	1	3.7%	1	33.3%	0		6	9.4%	4	5.9%	0	
その他	14	7.3%	2	6.7%	2	7.4%	0	0.0%	0		6	9.4%	4	5.9%	0	
無回答	8	4.2%	1	3.3%	2	7.4%	0	0.0%	0		2	3.1%	3	4.4%	0	
合計	192	100.0%	30	100.0%	27	100.0%	3	100.0%	0		64	100.0%	68	100.0%	0	
回答者数(合計 - 無回答)	184		29		25		3		0		62		65		0	

「あなたは、今、仕事をしていますか」と「あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由を教えてください」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
仕事が忙しい	139	21.4%	40	31.0%	11	25.0%	7	21.2%	0		74	34.4%	6	2.6%	1	100.0%
子育てが忙しい	83	12.7%	10	7.8%	6	13.6%	0	0.0%	0		29	13.5%	38	16.6%	0	0.0%
興味が無い	90	13.8%	16	12.4%	4	9.1%	8	24.2%	0		17	7.9%	45	19.7%	0	0.0%
誘われ無い	46	7.1%	9	7.0%	4	9.1%	1	3.0%	0		16	7.4%	16	7.0%	0	0.0%
どのような活動があるかわからない	146	22.4%	27	20.9%	7	15.9%	12	36.4%	0		46	21.4%	54	23.6%	0	0.0%
特定の人が活動していて参加しにくい	20	3.1%	7	5.4%	1	2.3%	0	0.0%	0		7	3.3%	5	2.2%	0	0.0%
人間関係が面倒	49	7.5%	7	5.4%	5	11.4%	3	9.1%	0		12	5.6%	22	9.6%	0	0.0%
その他	71	10.9%	13	10.1%	5	11.4%	2	6.1%	0		13	6.0%	38	16.6%	0	0.0%
無回答	7	1.1%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	0		1	0.5%	5	2.2%	0	0.0%
合計	651	100.0%	129	100.0%	44	100.0%	33	100.0%	0		215	100.0%	229	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	644		129		43		33		0		214		224		1	

「あなたは、今、仕事をしていますか」と「地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
興味を持つようなPRをする	155	16.4%	34	18.8%	6	8.1%	9	22.0%	0		48	16.8%	58	16.1%	0	0.0%
気軽に参加できる雰囲気づくり	284	30.1%	52	28.7%	25	33.8%	8	19.5%	0		73	25.6%	125	34.6%	1	50.0%
謝礼が出る	77	8.2%	21	11.6%	8	10.8%	7	17.1%	0		24	8.4%	16	4.4%	1	50.0%
自分の意見が反映される	20	2.1%	2	1.1%	5	6.8%	0	0.0%	0		9	3.2%	4	1.1%	0	0.0%
責任が重くない	150	15.9%	28	15.5%	11	14.9%	4	9.8%	0		46	16.1%	61	16.9%	0	0.0%
参加時間の設定ができる	104	11.0%	17	9.4%	8	10.8%	5	12.2%	0		34	11.9%	40	11.1%	0	0.0%
参加方法が選べる	95	10.1%	17	9.4%	3	4.1%	6	14.6%	0		38	13.3%	31	8.6%	0	0.0%
その他	29	3.1%	6	3.3%	4	5.4%	1	2.4%	0		8	2.8%	10	2.8%	0	0.0%
無回答	30	3.2%	4	2.2%	4	5.4%	1	2.4%	0		5	1.8%	16	4.4%	0	0.0%
合計	944	100.0%	181	100.0%	74	100.0%	41	100.0%	0		285	100.0%	361	100.0%	2	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	914		177		70		40		0		280		345		2	

「あなたは、今、仕事をしていますか」と「あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください」の関係

選択項目	総計		正社員		パート		アルバイト		他		労働形態不明		いいえ		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
平日の昼間	147	26.4%	9	8.7%	12	27.9%	2	8.3%	0		25	14.6%	99	46.3%	0	0.0%
平日の夜間	40	7.2%	12	11.7%	4	9.3%	3	12.5%	0		10	5.8%	11	5.1%	0	0.0%
土曜日の昼間	95	17.1%	26	25.2%	5	11.6%	2	8.3%	0		36	21.1%	25	11.7%	1	100.0%
土曜日の夜間	54	9.7%	12	11.7%	7	16.3%	4	16.7%	0		19	11.1%	12	5.6%	0	0.0%
日曜日の昼間	83	14.9%	18	17.5%	5	11.6%	6	25.0%	0		36	21.1%	18	8.4%	0	0.0%
日曜日の夜間	7	1.3%	3	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0		3	1.8%	1	0.5%	0	0.0%
その他	48	8.6%	12	11.7%	3	7.0%	4	16.7%	0		20	11.7%	9	4.2%	0	0.0%
無回答	82	14.7%	11	10.7%	7	16.3%	3	12.5%	0		22	12.9%	39	18.2%	0	0.0%
合計	556	100.0%	103	100.0%	43	100.0%	24	100.0%	0		171	100.0%	214	100.0%	1	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	474		92		36		21		0		149		175		1	

「南区民アンケート」(「あなたは、地域活動に参加していますか」を列項目にした)クロス集計表

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたの性別を教えてください」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している		あまり参加していない		参加していない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男	195	35.1%	23	32.4%	10	17.9%	21	25.3%	141	40.8%
女	361	64.9%	48	67.6%	46	82.1%	62	74.7%	205	59.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	556	100.0%	71	100.0%	56	100.0%	83	100.0%	346	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	556		71		56		83		346	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたの年齢を教えてください」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している		あまり参加していない		参加していない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代	51	9.2%	2	2.8%	2	3.6%	10	12.0%	37	10.7%
20歳代	72	12.9%	0	0.0%	2	3.6%	15	18.1%	55	15.9%
30歳代	149	26.8%	13	18.3%	16	28.6%	23	27.7%	97	28.0%
40歳代	159	28.6%	25	35.2%	24	42.9%	25	30.1%	85	24.6%
50歳代	43	7.7%	9	12.7%	7	12.5%	4	4.8%	23	6.6%
60歳以上	81	14.6%	22	31.0%	5	8.9%	6	7.2%	48	13.9%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
合計	556	100.0%	71	100.0%	56	100.0%	83	100.0%	346	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	555		71		56		83		345	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたは、どのような地域活動に参加していますか」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自治会活動	80	47.1%	45	47.9%	35	46.1%
お祭りの運営	18	10.6%	9	9.6%	9	11.8%
環境美化活動	9	5.3%	1	1.1%	8	10.5%
防犯・防災活動	9	5.3%	5	5.3%	4	5.3%
福祉活動	7	4.1%	6	6.4%	1	1.3%
学校関係(P.T.Aなど)の活動	30	17.6%	17	18.1%	13	17.1%
その他	16	9.4%	10	10.6%	6	7.9%
無回答	1	0.6%	1	1.1%	0	0.0%
合計	170	100.0%	94	100.0%	76	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	169		93		76	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地域住民とのふれあい	55	28.6%	32	30.8%	23	26.1%
社会貢献	28	14.6%	15	14.4%	13	14.8%
楽しい	12	6.3%	6	5.8%	6	6.8%
友達がいる	5	2.6%	2	1.9%	3	3.4%
子どものため	52	27.1%	26	25.0%	26	29.5%
断れなかった	18	9.4%	12	11.5%	6	6.8%
その他	14	7.3%	7	6.7%	7	8.0%
無回答	8	4.2%	4	3.8%	4	4.5%
合計	192	100.0%	104	100.0%	88	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	184		100		84	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
記述有り	13	92.9%	6	85.7%	7	100.0%
無回答	1	7.1%	1	14.3%	0	0.0%
合計	14	100.0%	7	100.0%	7	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	13		6		7	



「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由」

選択項目	総計		あまり参加していない		参加していない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
仕事が忙しい	139	21.4%	31	24.6%	108	20.6%
子育てが忙しい	83	12.7%	26	20.6%	57	10.9%
興味が無い	90	13.8%	9	7.1%	81	15.4%
誘われない	46	7.1%	5	4.0%	41	7.8%
どのような活動があるかわからない	146	22.4%	24	19.0%	122	23.2%
特定の人活動していて参加しにくい	20	3.1%	4	3.2%	16	3.0%
人間関係が面倒	49	7.5%	11	8.7%	38	7.2%
その他	71	10.9%	14	11.1%	57	10.9%
無回答	7	1.1%	2	1.6%	5	1.0%
合計	651	100.0%	126	100.0%	525	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	644		124		520	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している		あまり参加していない		参加していない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
興味を持つようなPRをする	155	16.4%	14	11.4%	11	12.5%	18	12.5%	112	19.0%
気軽に参加できる雰囲気づくり	284	30.1%	48	39.0%	32	36.4%	45	31.3%	159	27.0%
謝礼が出る	77	8.2%	4	3.3%	7	8.0%	12	8.3%	54	9.2%
自分の意見が反映される	20	2.1%	6	4.9%	4	4.5%	1	0.7%	9	1.5%
責任が重くない	150	15.9%	21	17.1%	14	15.9%	32	22.2%	83	14.1%
参加時間の設定ができる	104	11.0%	15	12.2%	8	9.1%	17	11.8%	64	10.9%
参加方法が選べる	95	10.1%	6	4.9%	7	8.0%	14	9.7%	68	11.5%
その他	29	3.1%	7	5.7%	3	3.4%	2	1.4%	17	2.9%
無回答	30	3.2%	2	1.6%	2	2.3%	3	2.1%	23	3.9%
合計	944	100.0%	123	100.0%	88	100.0%	144	100.0%	589	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	914		121		86		141		566	

「あなたは、地域活動に参加していますか」と「あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください」の関係

選択項目	総計		参加している		比較的参加している		あまり参加していない		参加していない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
平日の昼間	147	26.4%	24	33.8%	19	33.9%	25	30.1%	79	22.8%
平日の夜間	40	7.2%	5	7.0%	1	1.8%	4	4.8%	30	8.7%
土曜日の昼間	95	17.1%	8	11.3%	9	16.1%	18	21.7%	60	17.3%
土曜日の夜間	54	9.7%	8	11.3%	7	12.5%	8	9.6%	31	9.0%
日曜日の昼間	83	14.9%	12	16.9%	10	17.9%	14	16.9%	47	13.6%
日曜日の夜間	7	1.3%	2	2.8%	0	0.0%	1	1.2%	4	1.2%
その他	48	8.6%	4	5.6%	5	8.9%	3	3.6%	36	10.4%
無回答	82	14.7%	8	11.3%	5	8.9%	10	12.0%	59	17.1%
合計	556	100.0%	71	100.0%	56	100.0%	83	100.0%	346	100.0%
回答者数(合計 - 無回答)	474		63		51		73		287	



# 相模原市南区区民アンケート

## ～地域活動への参加について～

問1 あなたの性別を教えてください。

1 男 2 女

問2 あなたの年齢を教えてください。

1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代  
5 50歳代 6 60歳以上

問3 あなたは、今、仕事を持っていますか。「はい」の場合は( )内につけてください。

1 はい(正社員・パート・アルバイト・他) 2 いいえ

問4 あなたは、今、子育てをしていますか。「はい」の場合は( )内につけてください。

1 はい(未就学児・小学生・中学生・高校生・大学生) 2 いいえ

問5 あなたは、地域活動に参加していますか。【地域活動の内容は、問6参照】

(ここでの参加は、来場者等ではなく運営側等での参加を表します。)

1 参加している 2 比較的参加している 3 あまり参加していない  
4 参加していない

問6 (問5で、1 参加している、2 比較的参加していると答えた方)

あなたは、どのような地域活動に参加していますか。

1 自治会活動 2 お祭りの運営 3 環境美化活動 4 防犯・防災活動  
5 福祉活動 6 学校関係(PTAなど)の活動  
7 その他 [ ]

問7 (問5で、1 参加している、2 比較的参加していると答えた方)

あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください。(〇は2つまで)

1 地域住民とのふれあい 2 社会貢献 3 楽しい  
4 友達がいる 5 子どものため 6 断れなかった  
7 その他 [ ]

問8 (問5で、3 あまり参加していない、4 参加していないと答えた方)

あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由を教えてください。

(〇は2つまで)

1 仕事が忙しい 2 子育てが忙しい 3 興味がない  
4 誘われない 5 どのような活動があるかわからない  
6 特定の人が活動していて参加しにくい 7 人間関係が面倒  
8 その他 [ ]

裏面につづく

問9 地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- |                 |                         |           |
|-----------------|-------------------------|-----------|
| 1 興味を持つようなPRをする | 2 気軽に参加できる雰囲気づくり        |           |
| 3 謝礼が出る         | 4 自分の意見が反映される           | 5 責任が重くない |
| 6 参加時間の設定ができる   | 7 参加方法が選べる(ネットで会議参加 など) |           |
| 8 その他 [         | ]                       |           |

問10 あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 平日の昼間  | 2 平日の夜間  | 3 土曜日の昼間 |
| 4 土曜日の夜間 | 5 日曜日の昼間 | 6 日曜日の夜間 |
| 7 その他 [  | ]        |          |

問11 問6の活動以外で、参加したい活動があれば御記入ください。

【参加したい活動】

【理由】

問12 その他(地域活動に参加すること等について、自由に御意見を御記入ください。)

御協力ありがとうございました

### 3 - 3 無作為抽出型区民討議会

#### 「わいわいみんなで語ろうPart4～一語りいこうぜ!～」の開催

2 - 1、2 - 2の事業を踏まえて、ファシリテートの実践や「働く世代」・「子育て世代」の地域活動に対する考え方を資料に南区民から幅広い意見を聴取することを目的として、平成29年度に無作為抽出型区民討議会「わいわいみんなで語ろうPart4～一語りいこうぜ!～」を開催した。

Q .

“無作為抽出”って？



A .ここで言う“無作為抽出型区民討議会”は、南区の住民基本台帳から無作為に抽出した16歳以上3,000名の区民に討議会の参加依頼書を送付し、その中の参加承諾者により実施する討議会を指しています。この会議は、ドイツで考案され、平均的な市民意見の収集に用いられる「プラーヌクスツェレ」の要素を取り入れた市民参加の手法の一つです。

#### 無作為抽出型区民討議会について

区民ニーズに対応した行政サービスの提供と個性や特徴を活かしたまちづくりを進めていくためには、区民や各種団体との協働が重要であることから、幅広い意見を聴取でき、かつ、区民がまちづくりに参加するための手法として無作為抽出型の討議会を採用した。

この手法の最大の特徴は、公募による募集とは異なり、参加者が無作為で選ばれるため、限られた特定の人々の集団ではなく、ほとんどの場合がテーマに関して直接の当事者ではないところにある。このような方が少人数による話し合いを行うことで、他の参加者の意見を十分に聴き、お互いの体験や視点を尊重しながら合意形成された意見は、利益誘導や専門家の意見のように偏ったものでなく、サイレントマジョリティー（一般市民の声なき声）を抽出できる一般的に有効な方法とされている。

なお、相模原市では、平成23年に第1期区民会議での「相模原市南区区ビジョン」の検討過程において、初めて南区が無作為抽出型の討議会を開催した。

〔参考文献：「市民討議会運営マニュアル2010（（社）日本青年会議所）」〕

1 開催日時  
平成29年11月11日(土) 午後1時から5時まで

2 会場  
南区合同庁舎3階講堂

3 参加状況

(1) 当日の参加人数 38名【参加承諾者数 58名】

(2) 参加者等の分析

ア 性別 男性：12名(31.6%)【23名(40.%)】  
女性：26名(68.4%)【35名(60.0%)】

イ 年代別 10歳代：9名(23.6%)【10名(17.2%)】  
20歳代：4名(10.5%)【5名(8.6%)】  
30歳代：6名(15.7%)【10名(17.2%)】  
40歳代：6名(15.7%)【13名(22.4%)】  
50歳代：1名(2.6%)【3名(5.1%)】  
60歳代：11名(28.9%)【11名(18.9%)】  
70歳代：1名(2.6%)【6名(10.3%)】

【 】内は参加承諾者の数値

端数処理により、百分率の合計が100%となりません。

ウ 傍聴者 2名

エ その他

南区若者参加プロジェクト実行委員が各班にファシリテーター、区民会議委員の有志がサポートとして加わり、討議会の進行を行った。

オ 開催テーマ

「世代間交流促進のための仕組みづくり」

他市と同様に、相模原市でも少子高齢化と人口減少の傾向は免れないことが想定されている中で、現在の地域の担い手である比較的高齢の方と、次に地域を担っていく、働く世代・子育て世代、そして将来的に地域を担う若者の各世代が、今から交流を図り、地域を盛り上げていかなければ地域が持続していなくなる恐れがあるという懸念から、その解決方策を、みんなで考えてみようという主旨で設定されたもの。

4 具体的な討議テーマ

(1) 前半「まちづくりって何だろう？」

(2) 後半「 をブラッシュアップ！！」

とは...地域参画の仕組みや既存の地域団体等

地域活動を持続するための一つの方策として、自治会活動など、身近な地域活動へ多くの人に参加してもらうことが重要であるとの考えから本テーマを設定したもの。

これまでの南区区民会議での検討結果から、世代ごとの考え方には大きな違

いがあり、あらゆる世代と一緒に活動を行うためには、お互いの考え方を十分に伝えることが重要であるとの提言から、討議の前半では同世代により考え方の共通認識を図り、後半では、各世代が混在グループをつくり、考え方の違いや違いを埋めるためのアイディア、また、そのアイディアを活用した新たなまちづくりへの参画の仕組みや、既存団体の活動方法等をリニューアルする提案を行うことを目的とした。

討議会前半グループ【「まちづくりって何だろう？」】

あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。  
 まちづくりへの参加は大切だと思いますか。  
 誰が主体的にまちづくりを推進していくべきだと思いますか。  
 まちづくりへ参加しやすくするためのアイディア

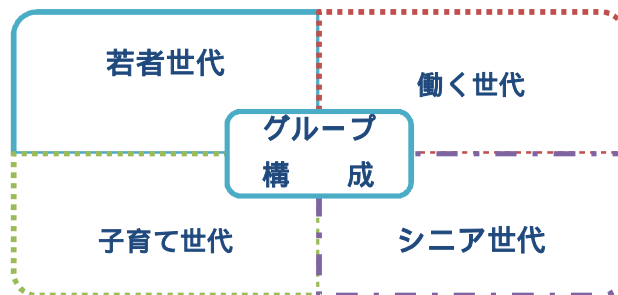
グループ数 若者世代：2班、働く世代・子育て世代：3班、  
 シニア世代：3班

グループイメージ



討議会後半開始【「○○○をブラッシュアップ！！」】

グループ数 8班



5 討議結果

討議結果については、49ページから55ページのとおり。

前半討議（同世代グループ）「“まちづくり”って何だろう？」意見			
テーマ	若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。	お年寄り・大人が運営している。 どこで、どんな人が運営しているかわからない。 地域活動やイベントへの参加	暮らしやすさをUPする。 生活環境の充実 高齢者に支えられている。	人との交流（あいさつ） 緑の整備 学校などの公共施設 自治会のお祭りなどのイベント イベント等の運営に参加する 堅いイメージ
まちづくりへの参加は大切だと思いますか	大切だと思う。 団体に属するだけでなく、例えばお祭りに来ることで、既に町づくりに参加しているのではないか。 参加しなくても生活に支障はないので、自分達がする必要はない。		みんなの参加が大切 ご近所付き合いや地域の見守り機能として重要
誰が主体的にまちづくりを推進していくべきだと思いますか。	若者でも機会があれば、参加したいと思う人は意外にいると思う。 参加する機会がない。	行政が主体となるべき 高齢者サークル 子育て世代が中心となるべき 自分自身が参加しなければならぬとは思っている。	いろいろな世代 誰がというより、みんなが集まれる場所があり、交流することが必要

<p>まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア</p>	<p>地域の合言葉をつくる。  自分の意見が言える場所づくり  イベントがきっかけとなりまちづくりがこる。  SNSでの情報発信  地域の魅力を伸ばすこと  鎌倉小町通のような有名な場所</p>	<p>人と人とのつながりをつくる。  誰でも参加できる体制づくり。  強制されず、楽しく行う活動  自慢できる事(物)を創る。</p>	<p>子供から高齢者まで住みやすい環境をつくる。  公民館の利便性の向上  どの世代も平等に、気持ちよく利用できる仕組み  ペットをコミュニケーションツールとする。  行政からの恩恵が受けられる。</p>
------------------------------	---	---	--



前半討議（同世代グループ）「まちづくり」って何だろう？」まとめ

若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
<p>まちづくりは大切であると感じている。 でも、だれが主体に行っているかが分からない。 もっと情報発信が必要 若者も参加の機会が欲しい。 今回をきっかけに参加しようと思った。 運営側に廻るのが参加ではないのではないか。 自分の意見が言える場があると良い。</p>	<p>まちづくりとは、暮らしやすくなること、生活環境が充実すること。 現在のまちづくり（地域活動）は高齢者の方に支えられている。 高齢者サークルや子育て世代が中心となって、まちづくりを進めるべき。 誰でも参加ができることが重要 楽しくて、強制されないことが重要 自分の趣味・興味に繋がれば参加率もあがるのではないか。 世代間交流の一環として、祭り、イベントは重要 住環境を良くする取り組みを多世代で実施することが必要 他に向けて、地域に自慢できる事（物）を創ることで一体感が増すのではないか。</p>	<p>まちづくりとは人との交流 家族から広がり、子供から大人までが住みやすいまちをつくること。 ハード（建物・条例）よりもソフト（住民一人ひとりの考え方・教育）が重要 自治会として、何が求められているのかわからない。 外国人の方も含め、地域の人が集まって交流する必要があるのではないか。 誰もが行きたい時に、行ける場所をつくる必要がある。 日常にとけこんだ交流を行うことが重要である。 キーワード 「交流」 「空き家の有効活用」 「チームワーク」 「美化」 「地域の文化度」</p>





後半討議（各世代混在グループ）：世代間の認識・考え方が異なる事項等の確認

A	B	C	D	E	F	G	H
	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人とのつながりを大切にすること</li> <li>・コミュニティづくり、仕組みづくりがあまりないこと。</li> </ul> <p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する見方</li> <li>・地域のイベントなどの参加の仕方</li> </ul>	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる世代が話し合える機会が欲しい</li> <li>・参加しやすい雰囲気大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNS に出てこない。</li> <li>・信頼できる地域コミュニティがあると安心</li> <li>・地域で自治会の運営力に差がある。</li> <li>・現状では、頼れるのは家族、友人</li> <li>・自治会役員になり手がいない。</li> <li>・定年後は、世間に干渉されずに生活がしたい。</li> <li>・少し強制的にしないと参加しないのではないか。</li> <li>・自発的には参加しにくい。</li> </ul>	<p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代ごとの集まりをあまり必要としていない。</li> <li>・子育て世代になって必要性に気づく。</li> <li>・転入出が激しいと地域特性が維持できない。</li> <li>・働き世代のボランティアは難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知りたい(人)と知って欲しい(人)がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流することが、まちづくりになると、どの世代も思っている。</li> <li>・イベントへの参加の仕方が異なる(スタッフかゲストか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの情報があれば参加したいと思っているが若い世代には、どこに情報があるかわからない。</li> <li>・働く世代、子世代は広報は見るけれど情報がわかりづらい。</li> <li>・シニア世代は、回覧板、掲示板、FMさがみ、広報で情報を入手する。</li> </ul>



後半討議 (各世代混在グループ): 認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア

A	B	C	D	E	F	G	H
<p>・環境整備が必要</p>	<p>・暖かく受け入れる。</p> <p>・家族や世代によって考え方を埋めるフォロー体制。</p> <p>・まちづくりのアピール方法 (情報発信・共有方法)</p>	<p>・小さい頃から参加できる自治会イベント</p>	<p>・若者世代は参加する場がない。</p> <p>・子育て世代は時間的(精神的)にゆとりがない。</p> <p>・シニア世代に若者世代とつながっていたかく(フォロー)</p>	<p>・ボランティアに対するポイント制の導入</p> <p>・気軽に集まることできる場所</p>	<p>・団体と団体が交流できる場の創設</p> <p>・活動情報の発信(SNS、回覧板)</p>	<p>・イベントを立ち上げるためのスタッフ募集する機会の立ち上げ。</p> <p>・そういう場があれば世代の違いを埋めることができるのではないか。</p>	<p>・SNS、ツイッター、HPの活用</p> <p>・スーパー、デパート等よく行く場所の掲示板活用</p> <p>・公民館の掲示板を見やすくする(内容による色分け)</p> <p>・幼・保・小・中・高、教育の場での告知</p>



後半討議（各世代混在グループ）：アイデアを活かした世代間交流のための仕組み

A	B	C	D	E	F	G	H
<p>【名称等】 『既存の団体で無く、個人又はグループで行政に発信するシステム』</p> <p>【内容等】 小さい意見でも言える場所</p>	<p>【名称等】 『集まる場所をブラッシュアップ!!』</p> <p>【内容等】 ・魅力あるイベントに、いろいろな世代に来てもらう。 ・巻き込む ・若者が活躍できる場面を増やす。 ・「よし！やろう。」と思う。</p>	<p>【名称等】 『ボランティア自治会のイベント』</p> <p>【内容等】 ・年1回の参加でもよい。 ・短期の実行委員 ・自治会に入っていないなくてもよい。 ・運営は若い世代、シニア世代はアドバイザー ・初心者でも参加しやすいイベントであること。 ・子どもが参加できる。世代間交流ができる。</p>	<p>【名称等】 『みんな子ども会へCome back!!』</p> <p>【内容等】 ・ターゲットを小中学生に絞り、自治会活動を通じて高齢世代とつながりをつくる。 ・学校行事につなげる。</p>	<p>【名称等】 『公民館をブラッシュアップ』</p> <p>【内容等】 ・団体登録の改善 ・開館時間の見直し（世代枠・抽選方法など）</p>	<p>【名称等】 『さがトコ広場』</p> <p>【内容等】 ・既存の空いている場所をみんなの集まる場所にする ・子どもの居場所 ・世代間交流の場所 ・出会いの場</p>	<p>【名称等】 『イベント開催のためのスタッフ募集』</p> <p>【内容等】 ・イベントを立ち上げるためのスタッフ募集</p>	<p>【名称等】 『ボランティア登録制度』</p> <p>【内容等】 ・まちづくり情報の発信、受信 ・1人では参加しづらい、情報に対する不安等の払拭を解決することができる。</p>

<p>【必要事項】 ・とにかく参加の募集を募る。</p>	<p>【必要事項】 ・全てにおいて安全であること。 ・情報を発信し共有すること。 ・受入態勢を大切にする。</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なボランティア制度の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・時間的に無理な親へのフォロー ・週末働いている方には、高齢者に子どもを預かってもらう。(高齢者の生きがいに繋げる。)</p>	<p>【必要事項】 ・団体登録時の最低登録可能人数を減らす ・抽選方法の改善 ・どの世代にも手軽に利用できるような周知</p>	<p>【必要事項】 ・主体になること。 ・各地域にあった仕組みづくり。 ・慎重な呼びかけ。 ・主催を知ってもらう</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なスタッフ募集の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・事務局は、行政をバックにして、意欲あるボランティアを募る。</p>
共感者数：5	共感者数：5	共感者数：25	共感者数：18	共感者数：10	共感者数：23	共感者数：11	共感者数：24

## 6 総評

各グループからあがったアイデアを大きく分類すると、「世代間交流を進めるための場所の創出」、「地域活動への参加の方法の工夫」についての2つに分けることができる。

まず、「世代間交流を進めるための場所の創出について」は、地域活動を行っている団体同士が出会える場、また、気軽に集まることができる場を創出することで、様々な世代が立ち寄り、まちづくりへの関心が高まることや出会いが生まれ、まちづくり参加の第1歩になるとのアイデアである。

次に、「地域活動への参加の方法の工夫」については、自治会等の地域活動において、1年間活動を続けることは難しいが、時間がある時期や興味のあるイベントなどに、スポット的に気軽に参加できる仕組みがあれば、将来の担い手をつくるきっかけとなるとのアイデアである。

このようなアイデアから、どの世代でも世代間交流を推進し、まちづくりに参加することの必要性は感じているが、多く的人是はまちづくりへの参加に負担感があり、気軽に強制的に感じない参加方法を求めている。

また、まちづくりに参加したいと思う人も、どこで情報を仕入れられるのか、どうすれば参加することができるのかがわからない人が多く、情報発信の方法の検討や交流の場の創出が必要である。



### 3 - 3 南区若者参加プロジェクト実行委員会主催

#### 「第4回 More 輝区～南区アイデアコンペ～」の共催

南区区ビジョンに基づき、区民と行政が一体となって区の個性や特徴を生かしたまちづくりを推進する一環として、「若い世代のまちづくりへの参画促進」を図るための事業を、若い世代が主体となって企画・実施することを目的に設置した南区若者参加プロジェクト実行委員会の主催する事業である「第4回 More 輝区～南区アイデアコンペ～」を共催した。

( P 5 9 - 6 0 「南区若者参加プロジェクト実行委員会とは？」を参照 )

1 名称 第4回More輝区～南区アイデアコンペ～

2 テーマ 「家族のための南区」

普段は忙しい働く世代・子育て世代が、家族と一緒に地域活動等に参加（参画）するためのアイデアや仕組みの提案をしていただいた。

3 実施日時・会場

日時：平成30年2月17日（土）午後1時から4時30分まで

会場：相模女子大学マーガレットホール4階ガーデンホール

4 来場者数 約90名



アイデアコンペの様子



イベントパンフレット

## 5 発表内容

	チーム名	テーマ	概要
1	公益社団法人 相模原青年会議所	家族のための南区	区内の空き店舗を行政が借り、地域の学校・区民に無料で貸し出し、そこで世代間交流を図る
2	SFF（女子美術大学）	相南フードフェスティバルの開催	区内3大学の学食や商店街のお店を集めた食のイベントの開催
3	子育てサロン 「ぽっかぽか」有志	親子が集える「屋根のある公園」の開催	子育て世代のコミュニケーションの場や子どもが遊ぶためのスペースの創出
4	相陽中学校 3年4組	働き方の改善と、保育士の負担軽減	休日に休息できるよう、平日に残業をできる体制づくり。そのための保育士の増加や託児所の開設
5	小此木チーム (相模女子大学)	南区を知るための逃走ゲームの開催	南区の特産品などを活用し「本気で大人も子供も楽しめる」をコンセプトにした鬼ごっこ形式のイベントの開催
6	子育て親育ち応援団 with.cfc	子どもの生活の中心である「食う・寝る・遊ぶ」をテーマにしたイベントの開催	離乳食のレシピ紹介・栄養相談、ベビーマッサージ等のリラクゼーション、保育園等紹介などを集めた定期イベントの開催
7	鶴の台小学校 PTA	ベルマーク、校外だよりを使った地域活動支援	ベルマークを活用した地域支援、校外だよりを活用した防犯活動

## 6 実施結果（表彰）

南区アイディア賞 小此木チーム（相模女子大学）  
オーディエンス賞 子育てサロン「ぽっかぽか」有志  
審査員特別賞 SFF（女子美術大学）

各賞の詳細は次のとおりです。

### 南区アイディア賞

南区若者参加プロジェクト実行委員が各プレゼンテーションを“交流”“共感”“オリジナリティ”の視点で審査し、決定しました。

### オーディエンス賞

来場者に投票用紙を配布、最も印象に残ったプレゼンターを記入いただき、その得票数が最も多いチームに授与しました。

### 審査員特別賞

各プレゼンテーションを「発表資料や展示の完成度」や「論理構成」、「実現性」など、幾つかの項目に基づき審査し、決定しました。審査員は、南区区民会議委員です。



## 参考：南区若者参加プロジェクト実行委員会とは？

(1) 設 立 平成26年4月1日

(2) 構成委員 16名(平成30年4月1日現在)

南区在住者及び在勤者、南区内にある高校・大学在籍者、区民会議委員などから、本会の趣旨を理解し希望する者  
(過去に南区に在住、在勤、在籍及び区民会議委員であった者も含む)



若プロ会議の様子



左：ななける 右：じゃっく  
若プロイメージキャラクター

(3) 主な取り組み実績

ア プレゼン大会の実施

若い世代が区のまちづくりについて考える機会を創出することを始めとして、区に対する区民の満足度向上、愛着の醸成、人々のつながりの構築やコミュニティの創出のため、さまざまな世代・業種の方々の相互交流・相互理解の場としてプレゼン大会を実施した。

イ イベント等への参加

(ア) 南区内イベントへの参加

a 南区区制施行5周年記念 南区おもしろまちフェスタ(平成27年度)

b おいでよ!南区ハッピーたまごまつり(平成28年度)

(イ) 無作為抽出型区民討議会の運営協力(平成27、29年度)



## ウ 広報活動

(ア) P Rグッズの作成

(イ) ノジマステラ神奈川試合会場での加入P R

(ウ) はたちのつどい(成人式)での加入P R



## 4 第5期南区区民会議に期待する討議内容

### 第5期南区区民会議に期待する討議内容

#### 「世代間交流促進のための仕組みづくり」

絆でつながる賑わいのまちをつくるための地域の活性化や伝統・文化の継承には世代間の交流が不可欠な要素です。現在の地域活動は、高齢者が中心となっていて行われていることが多く、働く世代・子育て世代や若い世代のまちづくりへの参画が少ない傾向が見られます。

第2期・第3期南区区民会議では、「若い世代のまちづくりへの参画促進」をテーマに取り組み、若い世代がまちづくりへ参画するための課題、また、若い世代を受け入れる側の課題について検討し、市長に提言をしました。

その結果、若者と地域、学校や行政のそれぞれが必要とする心得やマナーをまとめた「まちづくりのトリセツ」の発行に至りました。

第4期南区区民会議では、次の地域活動の担い手となる働く世代・子育て世代に着目し、その世代が地域活動への参加についてどのように考えているか、現状を把握するためにアンケートを実施いたしました。

また、地域活動における会議などの場で、様々な世代が活発に意見交換できる手法として、先進都市である静岡県牧之原市から講師をお招きし、ファシリテーター育成に関する講義をいただきました。

第5期では、区民会議の政策提案機能を生かし、“世代間交流促進のための仕組みづくり”に向けて、第4期で行った取組を御活用いただき、具体的な取組の検討を進めていただきたいと思います。

# 參考資料

## 相模原市南区区民会議規則

平成 22 年 3 月 15 日

規則第 15 号

## (趣旨)

第 1 条 この規則は、附属機関の設置に関する条例(昭和 37 年相模原市条例第 17 号)に基づき設置された相模原市南区区民会議(以下「区民会議」という。)の組織、運営等について必要な事項を定めるものとする。

## (委員)

第 2 条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 区内のまちづくり会議から推薦された者
- (2) 区内の公益的活動を行う団体から推薦された者
- (3) 学識経験のある者
- (4) 区内の住民
- (5) 前各号に掲げる者のほか、市長が特に必要と認める者

## (会長及び副会長)

第 3 条 区民会議に会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第 4 条 区民会議の会議は、会長が招集する。

2 区民会議の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 区民会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (関係者の出席)

第 5 条 区民会議の会議において、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

## (会議の招集の特例)

第 6 条 委員の任期満了後最初の区民会議の会議の招集は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、市長が行う。

(意見聴取及び周知)

第 7 条 区民会議は、調査審議又は建議に当たり、必要に応じて、区内の住民からの意見聴取に努めるものとする。

2 市長は、区民会議が調査審議又は建議した内容及び結果について、区内の住民に対して周知を図るものとする。

(庶務)

第 8 条 区民会議の庶務は、南区地域政策事務主管課で処理する。

(委任)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、区民会議の運営その他必要な事項は、会長が区民会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行後最初の区民会議の会議は、市長が招集する。

## 第 4 期区民会議委員名簿（平成 2 8 年 7 月 3 0 日～平成 3 0 年 7 月 2 9 日）

選出区分	所属 選出母体等	氏 名	備 考
(1)区内のまちづくり会議 から推薦された者	大野中地区まちづくり会議	森 逸 雄	
	大野南地区まちづくり会議	大 木 恵	
	麻溝地区まちづくり会議	石 井 正 彦	
	新磯地区まちづくり会議	穂 苺 健 二	
	相模台地区まちづくり会議	篠 塚 実希子	
	相武台地区まちづくり会議	佐 藤 あつ子	第 1 回～第 5 回
		瀬 尾 守 一	第 6 回～
東林地区まちづくり会議	金 子 匡 甫	第 1 回～第 5 回	
	嘉 松 皓	第 6 回～	
(2)区内の公益活動を行う 団体から推薦された者	相模原南交通安全協会	町 田 國 廣	第 1 回～第 5 回
		鈴 木 貴 市	第 6 回～
	相模原市民生委員児童委員協議会	青 木 智 野	第 1 回～第 6 回
		中 村 方 子	第 7 回～
	相模原市社会福祉法人経営者協議会	草 薙 喜 義	
	相模原市地区社会福祉協議会連絡 協議会南区連絡会	伊 藤 重 俊	
	子育て親育ち応援団With.cfc	古 田 政 子	
	相模原商工会議所	白 井 憲 二	
相模原青年会議所	義 見 亮 太		
(3)学識経験のある者	相模女子大学	井 部 弥 生	
	女子美術大学	飯 村 和 道	
	北里大学	田 中 美 加	
(4)区内の住民	公募委員	荒 俣 大	
	21 公募委員	澤 田 花 衣	第 1 回
		井 上 信	第 2 回～
22 公募委員	若 林 美 佳		
(5)市長が特に必要と認める者	23 伊勢丹相模原店	草 津 成	
	24 相模原・町田大学地域コンソーシアム	赤 司 澄 子	第 1 回～第 9 回
		金 森 巖	第 10 回～
25 区内大学生(女子美術大学)	鎌 田 成 美		

## 第 4 期区民会議開催状況

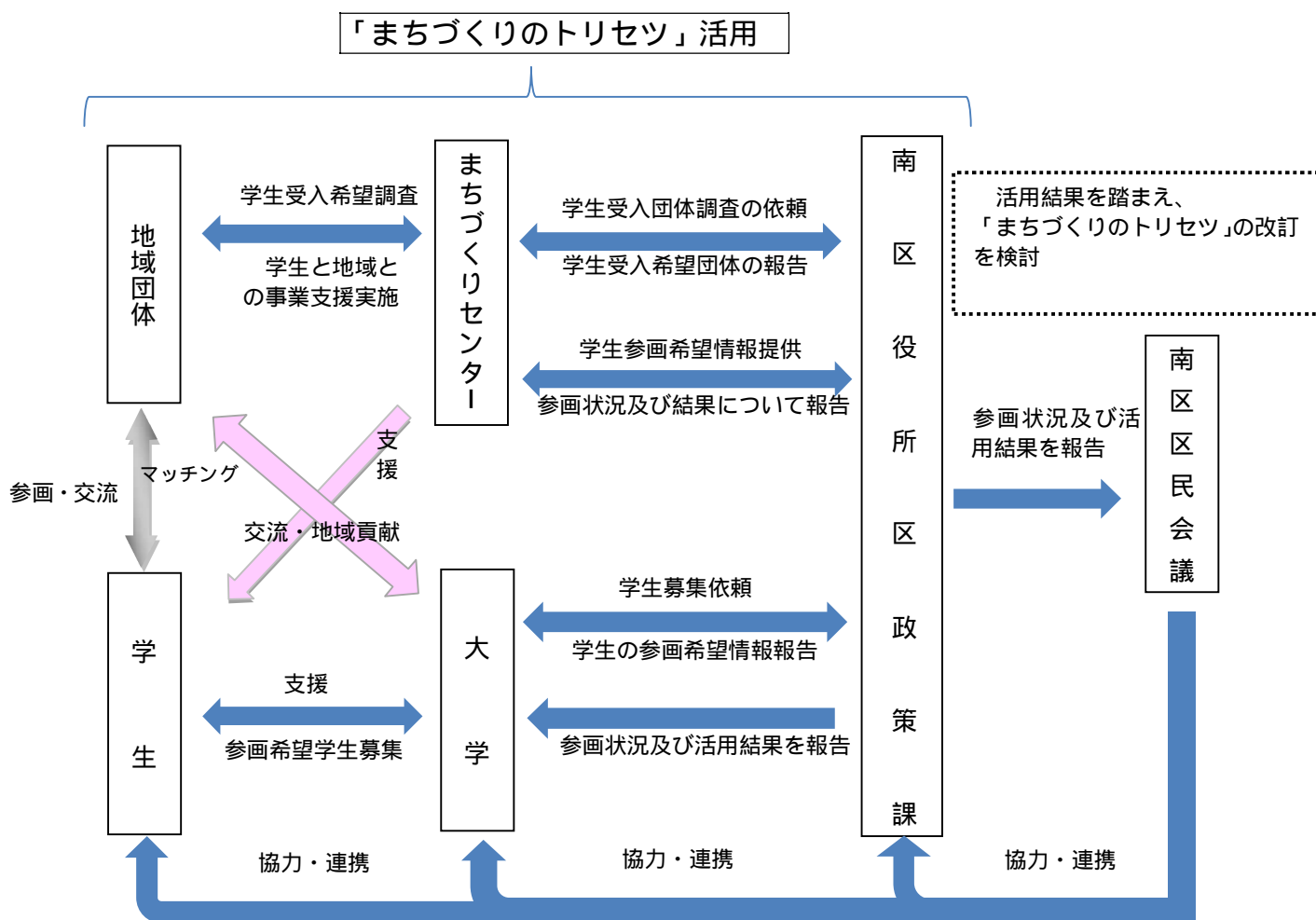
回次	開催日	出席者数	傍聴者数	審議内容
1	平成28年8月26日	21	0	・第1期から第3期までの取組について ・第4期南区区民会議に期待する討議内容について
2	10月19日	21	1	・第4期南区区民会議の取組について(グループワーク)
3	12月21日	20	2	・「(仮称)若者まちづくり参加ルールブック」について ・第4期南区区民会議の取組について
4	平成29年1月28日	19	-	・「第3回More輝区～南区アイデアコンペ～」
5	2月22日	17	0	・第4期南区区民会議の取組について
6	6月21日	18	2	・平成29年度区ビジョン推進事業(案)について (南区若者参加プロジェクト実行委員会事業について、無作為抽出型区民討議会について、働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について、世代間交流を促進するための人材育成事業について、「若い世代のまちづくりへの参画促進」に係る大学と地域団体の連携について)
7	10月31日	19	0	・無作為抽出型区民討議会について ・働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について ・世代間交流を促進するための人材育成事業について
8	12月25日	22	1	・第4期南区区民会議の取組のまとめについて
9	平成30年2月17日	16	-	・「第4回More輝区～南区アイデアコンペ～」
10				
11				
延人数		173	6	
1回あたりの平均		19.22	0.86	

## 平成 30 年度区ビジョン推進事業（案）について

- 1 南区若者参加プロジェクト実行委員会の取り組みについて  
若い世代がまちづくりへ参画しやすい方法を、若者自らが企画・実行する取り組みについて、南区若者参加プロジェクト実行委員会が主体となって実施する。
  - (1) 事業計画（案）
    - 第 5 回「More 輝区～南区アイデアコンペ～」の開催（平成 31 年 2 月予定）
    - 若い世代のまちづくりへの参画促進に向けた調査
      - ・区内各地区のイベント、観光スポット等の見学
      - ・地域の課題や実情を踏まえた地域活性化方法の検討や企画
    - 各種事業・イベント等での P R 活動
      - ・相模女子大学、女子美術大学における P R 活動の検討（活動紹介）
      - ・イベント等での P R 活動
  - (2) 報告・連携  
南区若者参加プロジェクト実行委員会の活動結果を踏まえ、若い世代の参画方法や効果的な事業などについて南区区民会議へ報告・提案を行う。
  - (3) 委託費  
予算額：¥ 9 0 0 , 0 0 0 円  
内 訳：プレゼンテーション大会実施経費、実行委員会活動経費、P R グッズ作成経費等
- 2 「若い世代のまちづくりへの参画促進」に係る大学と地域団体の連携について
  - (1) 目的  
相模原市南区区民会議では、「若い世代のまちづくりへの参画促進」をテーマに検討し、その取組の成果として、市と協力して「まちづくりのトリセツ」を作成した。その「まちづくりのトリセツ」を活用して、大学生が地域活動に参画し、地域の方とのふれあいや社会経験を積むことができるよう、参画を推進するもの。
  - (2) 参画にあたって  
大学生の参画にあたっては、区内 7 地区に設置されたまちづくりセンターの地域政策担当等が地域団体との橋渡しや地域活動を実践する学生を支援する。
  - (3) 相模女子大学マッチングプロジェクトとの連携  
地域団体と学生をマッチングする学生主体の組織として相模女子大学が発足させた「マッチングプロジェクト」と連携する。



## イメージ図



### (4) 参画に係る費用について

- ・学生の参画を希望する地域団体によっては、交通費等の支給について検討している。
- ・市の制度である「市民活動サポート保障制度」が適用され、保険料の個人負担は不要である。  
(ボランティア活動中に発生した怪我や損害賠償責任に対して適用)

### 3 第5期南区区民会議のテーマにかかる調査等委託事業

第5期南区区民会議で決定されたテーマについて、調査等が必要な場合に委託業務を検討する。

以上